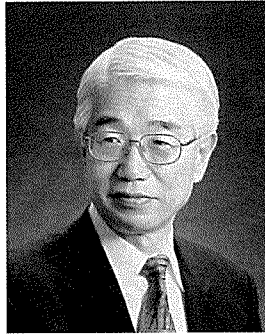


業績目録（奥野攻）

著者	東北大学史料館
号	1066
発行年	2008-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065883

奥野 攻教授業績目録

平成 20 年 3 月
東北大学史料館
(著作目録第 1066 号)



奥 野 攻 教 授 略 歴

生年月日	昭和19年 9 月 2 日
本 籍 地	東京都
職 名	教授
所 属	歯学研究科 口腔修復学講座 歯科生体材料学分野

最終学歴

昭和43年 3 月 早稲田大学 理工学部 金属工学科卒業

職 歴

昭和43年 8 月	東京医科歯科大学 医用器材研究所 金属材料部門 助手
昭和59年 9 月	アメリカ合衆国国立標準局材料研究所 歯科，医科材料グループ 客員研究員 (National Bureau of Standards, Dental and Medical Materials Group, Guest Worker)(昭和60年 9 月まで)
平成元年 8 月	東京医科歯科大学 医用器材研究所 金属材料部門 助教授
平成 4 年 7 月	東北大学歯学部 歯科理工学講座 教授
平成12年 4 月	東北大学大学院 歯学研究科 口腔修復学講座 歯科生体材料学分野 教授
平成20年 3 月	東北大学を定年退職

学 位

昭和51年 3 月 工学博士（早稲田大学）

受 賞

平成12年 5 月	科学技術庁第59回注目発明選定「歯科用磁力吸着器具」
平成13年 4 月	日本歯科理工学会論文賞

平成17年 4 月 日本歯科理工学会論文賞
平成18年 4 月 日本歯科理工学会論文賞
平成18年 4 月 日本歯科理工学会賞

学会等における活動（役職等）

日本歯科理工学会評議員（平成元年～平成 4 年）
日本歯科理工学会理事（平成 4 年～平成20年）
日本歯科理工学会常任理事（平成 8 年～平成11年）
第26回日本歯科理工学会学術講演会大会長（平成 7 年 9 月29, 30日）
日本材料科学会評議員（平成元年～平成11年）
日本材料科学会理事（平成12年～平成20年）
日本バイオマテリアル学会評議員（平成 6 年～平成20年）
日本磁気歯科学会理事（平成 3 年～平成20年）
日本磁気歯科学会第 6 回学術大会大会長（平成 8 年11月）
日本歯科産業学会理事（平成 6 年～平成20年）
歯科チタン学会理事（平成12年～平成20年）
歯科チタン学会会長（平成16年～平成20年）
第17回歯科チタン学会大会長（平成16年 2 月）
第20回歯科チタン学会大会長（平成19年 6 月 5, 6 日）
6th International Symposium on Titanium in Dentistry, Conference Chair
(June 5, 6, 2007)
The 2nd International Meeting on Titanium in Dental Technology Conference Chair
(June 5, 6, 2007)
国際歯科研究学会歯科材料グループ日本部会理事（平成 8 年～平成14年）
国際歯科研究学会歯科材料グループ日本部会会長（平成15年）

社会における活動

宮城県歯科技工士試験委員会委員（平成 5 年～平成12年）
日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（平成13年, 平成19年, 平成20年）

業 績 目 録

I. 著書・編書（共著書等含む）

1. 新しい工業材料の科学 複合材料 I
三浦維四, 奥野 攻（分担執筆）, 1970年 8 月, 金原出版株式会社
2. 複合材料工学
林 毅編, 奥野 攻, 三浦維四（分担執筆）, 1971年 9 月, 日科技連出版社
3. 金属複合材料
三浦維四編, 奥野 攻（分担執筆）, 1973年 4 月, 共立出版株式会社
4. 複合材料技術集成
複合材料技術集成編集委員会編, 奥野 攻（分担執筆）, 1976年 3 月, 産業技術センター
5. 機能材料入門（上巻）
本間基文, 北田正弘編, 三浦維四, 奥野 攻（分担執筆）, 1981年12月, アグネ
6. 金属便覧 改訂 4 版
日本金属学会編, 三浦維四, 奥野 攻（分担執筆）, 1982年12月, 丸善
7. 材料の新活用百科, 鉄鋼・非鉄金属
奥野 攻, 三浦維四,（分担執筆）, 1984年 4 月, 産業調査会
8. 永久磁石の開発・材料設計と磁気回路の解析・設計応用技術
金子秀夫監修, 奥野 攻（分担執筆）, 1987年12月, 総合技術センター
9. チタンの歯科利用
三浦維四, 井田一夫編, 奥野 攻（分担執筆）, 1988年 3 月, クインテッセンス出版
10. Multiphase Biomedical Materials
T.Tsuruta and A.Nakajima 編, O.Okuno（分担執筆）1989年, VSP BV, Urecht, The Netherlands
11. 医療・福祉・保健の総合年鑑 WIBA '90
日本医療企画 WIBA 編纂室編, 奥野 攻（分担執筆）, 1990年 4 月

12. 口腔インプラント学（上，下，用語辞典）
川原春幸監修，三浦維四，奥野 攻（分担執筆），1991年7月，医歯薬出版（株）
13. 現代歯科理工学
長谷川二郎，平澤 忠，高橋重雄編，奥野 攻（分担執筆）1996年3月，医歯薬出版（株）
14. Dental Materials and Their Selection, Second Edition
W.J. O' Brien 編，Osamu Okuno（分担執筆），1997年，Quintessence Publishing Co, Inc
15. Non-Aerospace Applications of Titanium
F.H. (Sam) Froes P.G. Allen and M. Niinomi ed. Toru Okabe Ikuya Watanabe Osamu Okuno Yukyo Takada, 1998年，The Minerals Metals & Materials Society.
16. 金属系バイオマテリアルの基礎と応用
角田方衛，筏 義人，立石哲也 編，奥野 攻（分担執筆），2000年6月，（株）アイビーシー
17. Dental Materials and Their Selection, Third Edition
W.J. O' Brien 編，Osamu Okuno（分担執筆），2002年，Quintessence Publishing Co, Inc
18. Cost-Affordable Titanium
Okabe T, Kikuchi M, Ohkubo C, Koike M, Okuno O, Oda Y, 2004年，The Minerals, Metals & Materials Society.

II. 調査報告書（科研費報告書など）

1. 昭和60年度～昭和62年度 科学研究費補助金（一般研究 B）研究成果報告書
歯科精密鑄造用チタン合金の研究，（課題番号 60480421）
三浦維四，浜中人士，奥野 攻，1988年3月
2. 昭和62年度～平成元年度 科学研究費補助金（一般研究 B）研究成果報告書
チタン合金の陶材焼き付けに関する研究，（課題番号 62480388）
奥野 攻，1990年3月

3. 平成3年度～平成5年度 科学研究費補助金（一般研究 B）研究成果報告書
超塑性チタン合金による補綴物の成形に関する基礎的研究，（課題番号 03454447）
奥野 攻，高田雄京，菊地聖史，1994年3月
4. 平成5年度～平成7年度 科学研究費補助金（一般研究 C）研究成果報告書
焼結金属のクラウン・ブリッジへの応用に関する基礎的研究，（課題番号 05671617）
依田正信，奥野 攻，石橋 実，豊田丈爾，1996年3月
5. 平成7年度～平成8年度 科学研究費補助金（基盤研究 B（2））研究成果報告書
新しい機能性チタン合金の研究，（課題番号 07457464）
奥野 攻，片倉直至，高田雄京，菊地聖史，1997年3月
6. 平成7年度～平成9年度 科学研究費補助金（基盤研究 B（2））研究成果報告書
白金鉄磁石のクラウン・ブリッジへの応用に関する基礎的研究，（課題番号 07457465）
木村幸平，奥野 攻，中山孝文，依田正信，笠原 紳，毛取達郎，1998年3月
7. 平成7年度～平成9年度 科学研究費補助金（基盤研究 A）研究成果報告書
歯科用 Fe-Pt 系永久磁石合金の開発，（課題番号 07555505）
渡辺雅人，本間基文，奥野 攻，木村幸平，中山孝文，1998年3月
8. 平成11年度～平成12年度 科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書
生体用 Fe-Pt 系磁性材料の開発，（課題番号 11555178）
中山孝文，渡辺雅人，奥野 攻，1999年3月
9. 平成12年度～平成14年度 科学研究費補助金（基盤研究 B（2））研究成果報告書
快削性歯科用チタン合金の開発，（課題番号 12470411）
奥野 攻，高田雄京，菊地聖史，木村幸平，片倉直至，2003年3月
10. 平成12年度～平成13年度 科学研究費補助金（基盤研究 C）研究成果報告書
口腔内腐食環境における異種金属材料共存の安全性に関する基礎解析，（課題番号 12671871）
高田雄京，奥野 攻，2002年3月

11. 平成13年度～平成14年度科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書
チタン合金の陶材焼付前装冠への応用に関する研究, (課題番号 13470409)
依田正信, 今野龍彦, 木村幸平, 高田雄京, 奥野 攻, 2003年 3 月
12. 平成14年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書
CAD/CAM による白金鉄磁石製磁性アタッチメント製作システムの構築,
(課題番号 14370624)
笠原 紳, 依田正信, 菅野太郎, 奥野 攻, 菊地聖史, 林 栄成, 2006年 3 月
13. 平成15年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書
白金鉄磁石合金を用いた骨組織の再生 (課題番号 15390584)
高田雄京, 奥野 攻, 越後成志, 菊地聖史, 高橋正敏, 2006年 4 月
14. 平成15年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書
歯科 CAD/CAM 用快削性チタン合金の開発, (課題番号 15390585)
奥野 攻, 木村幸平, 高田雄京, 依田正信, 菊地聖史, 高橋正敏, 2006年 4 月
15. 平成15年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書
チタン合金の陶材焼付前装冠への応用に関する研究, (課題番号 15390586)
依田正信, 木村幸平, 高田雄京, 奥野 攻, 2006年 4 月
16. 平成17年度国際共同研究助成事業（NEDO グラント）国際標準創成分野
歯科用磁性アタッチメントの最適化と国際標準の創成 中間評価報告書
(提案書番号 05ISO51)
奥野 攻, 木内陽介, 田中貴信, 水谷 紘, 細井紀雄, 高田雄京, 石上友彦,
Angelo A. Caputo, Toru Okabe, 2007年 4 月

Ⅲ. 研究論文（単独執筆・共同執筆）

1. W 繊維を含む Al の引張りによるひずみ分布
三浦維四, 奥野 攻, 日本金属学会誌, 34 (12): 1201-1207, 1970.
2. 微小引張試験機の試作
奥野 攻, 医用器材研究所報告, 4 : 75-78, 1970.
3. 短繊維強化複合合金におけるマトリックスの機械的性質と微視力学機構
奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 37 (9): 1031-1037, 1973.

4. 爆着による金属と繊維の接着問題
見村邦彦, 奥野 攻, 三浦維四, 医用器材研究所報告, 6 : 82-86, 1973.
5. 潤滑摩耗における酸化膜の影響
葉山房夫, 奥野 攻, 鑄研報告 (早稲田大学 鑄物研究所), 27 : 45-55, 1973.
6. 炭素繊維／アルミニウム系複合材料の作製とその機械的性質
見村邦彦, 奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 38 (8): 757-761, 1974.
7. W-Al 系短繊維強化合金における繊維の相互作用－包囲型繊維分布の場合－
奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 39 (8): 773-778, 1975.
8. W-Al 系短繊維強化合金における繊維の相互作用－重複型繊維分布の場合－
奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 39 (8): 779-784, 1975.
9. W-Al 系短繊維強化合金における繊維の相互作用－突合せ型繊維分布の場合－
奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 39 (8): 785-791, 1975.
10. セラミックウイスキーの繰返し引張強さ
奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 39 (12): 1261-1266, 1975.
11. 金属の短繊維強化における繊維の相互作用に関する研究
奥野 攻, 学位論文, 1976年3月.
12. モンテカルロシミュレーションによる繊維強化合金の破壊過程と強度の解析
奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 42 (7): 736-742, 1978.
13. モンテカルロ法による延性破壊のシミュレーション解析
奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会誌, 44 (12): 1370-1377, 1980.
14. Co-Cr-Mo 合金球形粉の回転電極法による製造
奥野 攻, 三浦維四, 医用器材研究所報告, 14 : 1-5, 1980.
15. 磁性合金の補綴領域における応用 (第1報) 実用的精度
水谷 紘, 石幡伸雄, 藍 稔, 小島正信, 原田晴海, 奥野 攻, 三浦維四, 日本補綴歯科学会雑誌, 25 (4): 687-694, 1981.
16. 陶材焼付用 Pd-Co-Ni 合金の研究
中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 山田宏秀, 宮崎 健, 医用器材研究所報告, 15 : 1-15, 1981.

17. 磁性合金の補綴領域における応用（第2報）根面維持装置として使用した場合の応用例
石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 奥野 攻, 三浦維四, 日本補綴歯科学会雑誌, 26 (5): 993-998, 1982.
18. Strain Analysis in Discontinuous Fiber-Reinforced Metals Using Moire Grid Method
O.Okuno, I.Miura, Progress in Science and Engineering of Composites Vol. 2, 1107-1114, 1982.
19. 歯科鑄造用 Pd-Co-Ni 系磁性合金における鑄造割れ防止の研究
奥野 攻, 原田晴海, 原 正明, 三浦維四, 石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 歯科材料・器械, 1 (1): 47-54, 1982.
20. 陶材焼付用 Pd-Co-Ni 系合金の研究 - Au, Pt, Fe, Mo の添加の影響について -
中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 医用器材研究所報告, 17 : 1-9, 1983.
21. 閉磁路型磁性アタッチメントの吸引力解析
木内陽介, 西岡正道, 牛田富之, 吉田幸子, 原 正明, 奥野 攻, 三浦維四, 電気学会 回転機・静止器合同研究会, RM-84-39, SA-84-10: 1-8, 1984.
22. 歯科鑄造用チタン合金の基本組成に関する研究
奥野 攻, 清水 彰, 三浦維四, 歯科材料・器械, 4 (6): 708-715, 1985.
23. 閉磁路型歯科用磁性維持装置の研究
原 正明, 奥野 攻, 三浦維四, 石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 木内陽介, 牛田富之, 吉田幸子, 筒井英夫, 歯科材料・器械, 5 (3): 236-242, 1985.
24. The Mesh Monitor for Casting Characterization
J.A.Tesk, O.Okuno, R.W.Penn, S.Hirano, H.R.Kase, Noble Metals Fabrications & Technology Seminar, Ed. by L. Gal-Or. Inter-national Precious Metals Institute, 35-45, 1985.
25. Mechanical Properties and Bio-mechanical Compatibility of Porous Titanium for Dental Implants
K.Asaoka, N. Kuwayama, O.Okuno, I.Miura, Journal of Biomedical Material Research, 19 (6): 699-713, 1985.
26. 歯科鑄造用 Co-Pd-Cr 三元合金の研究
中野 毅, 清水 彰, 石崎雅一郎, 奥野 攻, 三浦維四, 医用器材研究所報告, 19 : 1-13, 1985.

27. Pore Structures and Mechanical Properties of the Porous Zr-Ti Implants
O.Okuno, N.Shibata, I.Miura, Dental Materials Journal, 6 (2): 175-184, 1987.
28. Bone and Fibrous Tissue Ingrowth into the Porous Zr-Ti Implants
N.Shibata, O.Okuno, Dental Materials Journal, 6 (2): 185-200, 1987.
29. Sm-Co 磁石と歯科鑄造用磁性合金の腐食溶出
中野 毅, 奥野 攻, 浜中人士, 医用器材研究所報告, 22 : 17-22, 1988.
30. Application of the Beta Titanium Alloys in Dentistry
O.Okuno, H.Hamanaka, Dentist in Japan, 26: 101-104, 1989.
31. Titanium Alloys for Prosthetic Use
O.Okuno, Proceedings of the MRS International Meeting on Advanced Materials, Material Research Society Vol. 1, 403-408, 1989.
32. Dental Casting of Titanium and Ni-Ti Alloy by New Casting Machine
H.Hamanaka, H.Doi, T.Yoneyama, O.Okuno, Journal of Dental Research, 68 (11): 1529-1533, 1989.
33. 超塑性成形法によるチタン合金床の研究
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 三浦維四, 伊藤実希夫, 岡田 稔, 歯科材料・器械, 8 (2): 129-136, 1989.
34. 超塑性チタン合金の床義歯への応用－第1報－適合性について－
伊藤実希夫, 奥野 攻, 藍 稔, 三浦維四, 口腔病学会誌, 56 (3): 429-434, 1989.
35. Nd-Fe-B 磁石とパーメンダーによる歯科用サンドイッチ型磁性維持装置
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 木内陽介, 歯科材料・器械, 8 (4): 539-545, 1989.
36. Encapsuled Sandwich Type Dental Magnetic Retainers by Nd-Fe-B Magnet and Permendur
O.Okuno, T.Nakano, H.Hamanaka, Y.Kinouchi, Proceedings of 10th International Workshop on Rare-Earth Magnets and Their Applications (I), The Society of Non-traditional Tecnology, 167-174, 1989.
37. Finite Element Analysis of Magnet Devices for Retaining Dentures
Y.Kinouchi, K.Ohsawa, T.Ushita, O.Okuno, Proceedings of 10th International Workshop on Rare-Earth Magnets and Their Applications (I), The Society of Non-traditional Tecnology, 157-166, 1989.

38. Mesh Monitor Casting of Ni-Cr Alloys: Element Effects
O.Okuno, J.A.Tesk, R.W.Penn, Dental Materials, 5 (5): 294-300, 1989.
39. 白金コバルト磁石の吸引力
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 木内陽介, 医用器材研究所報告, 23 : 1-5, 1989.
40. 超塑性チタン合金床義歯の曲げたわみ特性
若林則幸, 藍 稔, 奥野 攻, 歯科材料・器械, 9 (2): 271-278, 1990.
41. チタン鑄造体の機械的性質に及ぼす不純物の影響
土居 寿, 米山隆之, 奥野 攻, 浜中人士, 歯科材料・器械, 10 (6): 844-849, 1991.
42. チタン合金の超塑性成形における拡散接合の研究
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 加藤 勇, 歯科材料・器械, 10 (4): 483-491, 1991.
43. 歯科用磁性アタッチメントの最適寸法に関する考察
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 医用器材研究所報告, 25 : 23-32, 1991.
44. Development of Sealed Cup Yoke Type Dental Magnetic Attachment
O.Okuno, S.Ishikawa, F.T.Iimuro, T.Nakano, H.Hamanaka, H.Mizutani, M.Ai, Y.Kinouchi, Dental Materials Journal, 10 (2): 172-184, 1991.
45. The Corrosion Behavior of $\text{Nd}_2\text{Fe}_{14}\text{B}$ and SmCo_5 Magnets
Asahi Kitsugi, Osamu Okuno, Tsuyoshi Nakano, Hitoshi Hamanaka and Takayuki Kuroda, Dental Materials Journal, 11 (2): 119-129, 1992.
46. Ti-Zr 合金表面組成の擬似体液中での変化
塙 隆夫, 奥野 攻, 浜中人士, 日本金属学会誌, 56 (10): 1168-1173, 1992.
47. Pt-Fe-Nb 磁石の耐食性, 機械的性質, 吸引力
奥野 攻, 飯室隆子フロレンチーナ, 中野 毅, 浜中人士, 木内陽介, 松井康浩, 日本磁気歯科学会雑誌, 1 (1): 14-22, 1992.
48. 磁性アタッチメントの維持能力の解析
木内陽介, 奥野 攻, 日本磁気歯科学会雑誌, 1 (1): 30-34, 1992.
49. 歯科用金属が MRI に及ぼす影響
鱒見進一, 有田正博, 奥野 攻, 城戸寛史, 竹屋克昭, 千草隆治, 三宅茂樹, 守川雅男, 豊田静夫, 日本磁気歯科学会雑誌, 1 (1): 45-48, 1992.

50. MRI 対策としてのキーパー可撤法の検討
中村和夫, 石川 晋, 藍 稔, 水谷 紘, 土井史子, 奥野 攻, 日本磁気歯
科学会雑誌, 1 (1): 71-75, 1992.
51. カップヨーク型磁性アタッチメントにおけるシールドリングの改良について
奥野 攻, 高田雄京, 中村和夫, 水谷 紘, 藍 稔, 木内陽介, 山田宏秀,
鈴木弘也, 日本磁気歯科学会雑誌, 2 (1): 1-10, 1993.
52. 下顎前歯への応用を考慮した小型磁性アタッチメントに関する研究
水谷 紘, 中村和夫, 藍 稔, 石川 晋, 奥野 攻, 日本磁気歯科学会雑誌,
2 (1): 18-22, 1993.
53. Corrosion of Coupled in a Dental Magnetic Attachment System
Florentina T. Imuro, Takayuki Yoneyama and Osamu Okuno, Dental Materials
Journal, 12 (2) : 136-144, 1993.
54. 磁性アタッチメントを構成するステンレス鋼と歯科用貴金属合金などの腐食
機構
高田雄京, 奥野 攻, 日本磁気歯科学会雑誌, 3 (1): 14-22, 1994.
55. 新しい多目的型金合金の組織と諸性質
高田雄京, 奥野 攻, 東北大学歯学雑誌, 14 (1): 68-74, 1995.
56. 高純度 SUS430系ステンレス鋼の歯科用磁性材料としての耐食性評価
高田雄京, 奥野 攻 日本磁気歯科学会雑誌, 4 (1): 10-18, 1995.
57. 新しい多目的型金合金 (Degunorm) に関する基礎的・臨床的検討
稲垣亮一, 丹野雅仁, 安藤申直, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 今野龍彦,
佐々木金也, 依田正信, 木村幸平, 東北大学歯学雑誌, 14 (2): 216-223,
1995.
58. An Approach to Computer Aided Porcelain Forming System
Masafumi Kikuchi, Kazuo Takakuda, Hiroo Miyairi and Osamu Okuno, Dental
Materials Journal, 14 (2): 236-244, 1995.
59. マウスガードの化学構造と動的粘弾性
片倉直至, 細谷 誠, 奥野 攻, 木村幸平, 日本補綴歯科学会雑誌, 40 (6):
1136-1141, 1996.
60. ステンレス鋼と金銀パラジウム合金の接触腐食における電位の逆転と溶出イ
オン量の増加
高田雄京, 奥野 攻, 歯科材料・器械, 15 (6): 525-531, 1996.

61. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金のクラウン・ブリッジへの応用
菅野太郎, 木村幸平, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 中山孝文, 日本磁気歯科学会雑誌, 5 (1): 58-66, 1996.
62. 歯科鑄造した Fe-Pt 系磁石合金の磁気特性
中山孝文, 渡辺雅人, 本間基夫, 菅野太郎, 木村幸平, 奥野 攻, 日本応用磁気学会誌, 21 (4-2) : 377-380, 1997.
63. 画像処理による陶材の築盛の湿潤状態評価
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科材料・器械, 16 (4): 282-287, 1997.
64. 歯科鑄造した Fe-Pt 系合金の磁気特性
中山孝文, 渡辺雅人, 菅野太郎, 木村幸平, 奥野 攻, 本間基文, 日本応用磁気学会誌, 21 (2): 377-380, 1997.
65. チタンに対する金合金の赤外線加熱融接挙動
飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 歯科材料・器械, 17 (1): 29-40, 1998.
66. 白金鉄系磁石合金鑄造体に及ぼす Si および Nb の添加効果
菅野太郎, 中山孝文, 木村幸平, 奥野 攻, 歯科材料・器械, 17 (1): 54-61, 1998.
67. 歯科鑄造用金-チタン系合金の組成に関する基礎的検討
高橋俊幸, 菊地聖史, 高田雄京, 奥野 攻, 歯科材料・器械, 17 (2): 126-139, 1998.
68. 陶材築盛時の湿潤状態の自動制御
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科材料・器械, 17 (2): 185-190, 1998.
69. 白金鉄磁石合金の歯科鑄造による可撤式クラウン・ブリッジへの応用に関する基礎的検討
菅野太郎, 中山孝文, 奥野 攻, 木村幸平, 日本補綴歯科学会雑誌, 42 (3): 424-430, 1998.
70. Isothermal Age-hardening Behaviour in a Au-1.6 wt% Ti Alloy
Hyung-II KIM, Hyo-Joung SEOL, Dong-Hwa BAE, Ji-Young SHIM, Yukyo TAKADA and Osamu OKUNO, Dental Materials Journal, 18 (1): 32-41, 1999.
71. 市販ティッシュコンディショナーの組成と流動特性
細谷 誠, 片倉直至, 八代浩次, 豊田丈爾, 泉田明男, 依田正信, 奥野 攻, 木村幸平, 日本補綴歯科学会雑誌, 43 (3): 551-558, 1999.

72. Infrared Gold Alloy Brazing on Titanium and Ti-6Al-4V Alloy Surfaces and its Application to Removable Prosthodontics
Noriyuki Wakabayashi, Minoru Ai, Kazunori Iijima, Yukyo Takada and Osamu Okuno, Journal of Prosthodontics, 8 (3): 180-187, 1999.
73. Microfracture Mechanisms of Composite Resins Containing Prepolymerized Particle Fillers
Kyo-Han Kim, Young-Bin Kim and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 19 (1): 22-23, 2000.
74. 市販粘膜調整材のゲル化後におけるレオロジー的性質
片倉直至, 細谷 誠, 泉田明男, 奥野 攻, 木村幸平, 東北大学歯学雑誌, 19 (2): 116-124, 2000.
75. Corrosion Resistance of the Pt-Fe-Nb Magnets for Dental-casting
Katsunori Haoka, Taro Kanno, Yukyo Takada, Kohei Kimura and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 19 (3) : 270-282, 2000.
76. 重付加型シリコンゴム印象材の組成と流動特性
泉田明男, 細谷 誠, 片倉直至, 笠原 紳, 依田正信, 奥野 攻, 木村幸平, 日本補綴歯科学会雑誌, 44 (4): 504-511, 2000.
77. Microstructure and Corrosion Behavior of Binary Titanium Alloys with Beta-stabilizing Elements
Yukyo Takada, Hiroshi Nakajima, Osamu Okuno and Toru Okabe, Dental Materials Journal, 20 (1): 34-52, 2001.
78. Bond strength of binary titanium alloys to porcelain
Masanobu Yoda, Tatsuhiko Konno, Yukyo Takada, Kazunori Iijima, Jason Griggs, Osamu Okuno, Kohei Kimura, Toru Okabe, Biomaterials, 22 (12): 1675-1681, 2001.
79. Biomechanical and Histological Studies on the Titanium-Zirconium Porous Implant
Hashimoto K, Matsuda T, Niwa K, Kawahara H, Okuno O, Proceedings of 5th World Congress for Oral Implantology Biomechanics and Tissue Engineering: 104-106, 2001.
80. Mold filling of titanium alloys in two different wedge-shaped molds
H. Shimizu, T. Habu, Y. Takada, K. Watanabe, O. Okuno, T. Okabe, Biomaterials, 23: 2275-2281, 2002.

81. Microfracture behaviour of composite resins containing irregular-shaped Fillers
K-H.Kim, O.Okuno, Journal of Oral Rehabilitation, 29: 1-7, 2002.
82. The effect of filler loading and morphology on the mechanical properties of contemporary composites
Kyo-Han Kim, Joo L Ong, Osamu Okuno, J Prosthet Dent, 87 (6): 642-649, 2002.
83. 口腔内腐蝕環境における歯科用金属材料の表面解析—歯科用アマルガムとチタンの接触腐食におけるチタン表面への溶出イオン吸着—
高田雄京, 浅見勝彦, 奥野 攻, 新素材設計開発施設共同利用研究報告書, 112-113, 2002.
84. Adsorption of Released Ions from Dental Amalgams on Titanium
K.Asami, Y.Takada, O.Okuno, Surf Interface Anal, 34: 144-147, 2002.
85. 市販親水性重付加型シリコーンゴム印象材の流動性
泉田明男, 細谷 誠, 片倉直至, 笠原 紳, 依田正信, 奥野 攻, 木村幸平, 歯科材料・器械, 21 (5): 278-284, 2002.
86. Mechanical Properties and Microstructures of Dental Cast Ti-Ag and Ti-Cu Alloys
Masatoshi Takahashi, Masafumi Kikuchi, Yukyo Takada, Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 21 (3): 270-280, 2002.
87. Surface Oxide Films on Titanium Alloys Regenerated in Hanks' Solution
Takao Hanawa, Sachiko Hiromoto, Katsuhiko Asami, Osamu Okuno, Kenzo Asaoka, Materials Transactions, 43 (12): 3000-3004, 2002.
88. Galvanic Corrosion of Dental Amalgams in Contact with Titanium in Terms of Released Ions
Yukyo Takada, Shi-Duk Lim, Katsuhiko Asami, Kyo-Han Kim, Osamu Okuno, Materials Transactions, 43 (12): 3146-3154, 2002.
89. Dental Casting Fe-Pt magnetic alloy for Removable Prosthetic Appliance
T.Kanno, T.Nakayama, O.Okuno, K.Kimura, The Journal of the Japanese Society of Magnetic Application in Dentistry (Proceedings of The First International Conference on Magnetic Application in Dentistry), 11 (1): 82-91, 2002.

90. Corrosion Resistance of Magnetic Stainless Steel Keeper for Dental Magnetic Attachment
Osamu Okuno, Yukyo Takada, Masafumi Kikuchi and Kohei Kimura, The Journal of the Japanese Society of Magnetic Application in Dentistry (Proceedings of The First International Conference on Magnetic Application in Dentistry), 11 (1): 100-104, 2002.
91. Casting behavior of titanium alloys in a centrifugal casting machine
K.Watanabe, O.Miyakawa, Y.Takada, O.Okuno, T.Okabe, Biomaterials, 24: 1737-1743, 2003.
92. Ions Released from Dental Amalgams in Contact with Titanium
Shi-Duk Lim, Yukyo Takada, Kyo-Han Kim and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 22 (1): 96-110, 2003.
93. Mechanical properties and microstructures of cast Ti-Cu alloys
Masafumi Kikuchi, Yukyo Takada, Seigo Kiyosue, Masanobu Yoda, Margaret Woldu, Zhuo Cai, Osamu Okuno and Toru Okabe, Dental Materials, 19 (3): 174-181, 2003.
94. Grindability of cast Ti-Cu alloys
Masafumi Kikuchi, Yukyo Takada, Seigo Kiyosue, Masanobu Yoda, Margaret Woldu, Zhuo Cai, Osamu Okuno and Toru Okabe, Dental Materials, 19 (5): 375-381, 2003.
95. Grindability of Dental Cast Ti-Ag and Ti-Cu Alloys
Masafumi Kikuchi, Masatoshi Takahashi, Toru Okabe and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 22 (2): 191-205, 2003.
96. Mechanical Properties and Grindability of Dental Cast Ti-Nb Alloys
Masafumi Kikuchi, Masatoshi Takahashi and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 22 (3): 328-342, 2003.
97. Fundamental Investigation about an Optimum Design of Crown and Bridge Made of the Fe-Pt Magnetic Alloy Using the Integral Element Method-The 2nd Report
Nobuki Shoji, Keisuke Nakamura, Taro Kanno, Masanobu Yoda, Masashi Takahashi, Koji Kusayanagi, Kohei Kimura, and Osamu Okuno, The Journal of the Japanese Society of Magnetic Application in Dentistry, 12 (2): 16-20, 2003.

98. Fundamental Investigation about an Optimum Design of Crown and Bridge Made of the Fe-Pt Magnetic Alloy Using the Integral Element Method, -The 3rd Report-
Nobuki Shoji, Koji Kusayanagi, Osamu Okuno, Kohei Kimura, J J Mag Dent, 13 (2): 10-15, 2004.
99. Improving Grindability and Wear Resistance of Titanium Alloys
Toru Okabe, Masafumi Kikuchi, Chikahiro Ohkubo, Marie Koike, Osamu Okuno, Yutaka Oda, Cost-Affordable Titanium Symposium Dedicated to Professor Harvey Flower, TMS (The Minerals, Metals & Materials Society) 2004: 177-181, 2004.
100. Machinability Evaluation of Titanium Alloys
Masafumi Kikuchi and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 23 (1): 37-45, 2004.
101. Machinability Evaluation of Titanium Alloys (Part 2) — Analyses of Cutting Force and Spindle Motor Current —
Masafumi Kikuchi and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 23 (4): 621-627, 2004.
102. 高強度多結晶酸化ジルコニウムに関する基礎的検討 — 適合精度について —
三浦賞子, 稲垣亮一, 今野龍彦, 依田正信, 奥野 攻, 木村幸平, 歯科審美, 16 (2): 260-265, 2004.
103. 白金鉄系磁石を用いたクラウン・ブリッジの最適設計に関する基礎的研究
積分要素法による三次元磁場解析を用いた検討
莊司伸樹, 笠原 紳, 木村幸平, 奥野 攻, 電子情報通信学会技術研究報告 (ME とバイオサイバネティックス), 104 (429): 17-20, 2004.
104. 白金鉄系磁石クラウンブリッジの最適設計に関する基礎的検討 — 三次元磁場解析を用いた着磁方法の検討 —
莊司伸樹, 木村幸平, 奥野 攻, 日本磁気歯科学会雑誌, 13 (1): 18-26, 2004.
105. 白金鉄系磁石クラウンブリッジの最適設計に関する基礎的検討 — 三次元磁場解析を用いた外冠・内冠の最適設定の検討 —
莊司伸樹, 木村幸平, 奥野 攻, 日本磁気歯科学会雑誌, 13 (1): 27-33, 2004.
106. The grindability and wear of Ti-Cu alloys for dental applications
Toru Okabe, Masafumi Kikuchi, Chikahiro Ohkubo, Marie Koike, Osamu Okuno, Yutaka Oda, JOM, 56: 46-48, 2004.

107. Corrosion Behavior and Microstructures of Experimental Ti-Au Alloys
Masatoshi Takahashi, Masafumi Kikuchi, Yukyo Takada, Osamu Okuno and Toru Okabe, Dental Materials Journal, 23 (2): 109-116, 2004.
108. Mechanical Properties and Grindability of Experimental Ti-Au Alloys
Masatoshi Takahashi, Masafumi Kikuchi and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 23 (2): 203-210, 2004.
109. The Thickness Effects of Titanium Castings on the Surface Reaction Layer
Hisaji Kikuchi, Makoto Onouchi, Kohichi Miyanaga, Mitsuru Wakashima, Osamu Okuno and Minoru Nishiyama, Dental Materials Journal, 23 (3): 387-394, 2004.
110. 義歯床用レジンの吸水性と動的粘弾性
片倉直至, 泉田明男, 佐々木英夫, 奥野 攻, 木村幸平, 東北大学歯学雑誌, 23 (2): 67-72, 2004.
111. Mechanical Properties of Cast Ti-Hf Alloys
Hideki Sato, Masafumi Kikuchi, Masashi Komatsu, Osamu Okuno, Toru Okabe, Wiley Periodicals, Inc, J Biomed Mater Res Part B: Appl Biomater, 72B: 362-367, 2005.
112. 高強度多結晶酸化ジルコニウムに関する基礎的検討 —適合精度について—
兼田陽介, 三浦賞子, 稲垣亮一, 依田正信, 奥野 攻, 木村幸平, 歯科審美, 17 (2): 30-37, 176-183, 2005.
113. Electrochemical Properties and Released Ions of Au-1.6mass%Ti Alloy
Yukyo Takada, Masayuki Ito, Kohei Kimura and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 24 (2): 153-162, 2005.
114. Grindability of Dental Magnetic Alloys
Eisei Hayashi, Masafumi Kikuchi, Osamu Okuno and Kohei Kimura, Dental Materials Journal, 24 (2): 163-171, 2005.
115. Fundamental Investigation About an Optimum Design of Crown and Bridge Made of the Pt-Fe Magnetic Alloy Using the Integral Element Method
Nobuki Shoji, Shinn Kasahara, Osamu Okuno, and Kohei Kimura, The Journal of the Japanese Society of Magnetic Application in Dentistry, 14 (2): 35-38, 2005.
116. Ceramic Bonding Strength of Au-1.6wt% Ti Alloy
Masayuki Ito, Masafumi Kikuchi, Osamu Okuno and Kohei Kimura, Dental Materials Journal, 24 (3): 268-274, 2005.

117. Effect of Heat History on the Corrosion of Ferritic Stainless Steels Used for Dental Magnetic Attachments
Yukyo Takada and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 24 (3): 391-397, 2005.
118. Elastic moduli of cast Ti-Au, Ti-Ag, and Ti-Cu alloys
Masafumi Kikuchi, Masatoshi Takahashi, Osamu Okuno, Dental Materials: 1-6, 2005.
119. Electrochemical characterization of cast Ti-Hf binary alloys
Z. Cai, M. Koike, H. Sato, M. Brezner, Q. Guo, M. Komatsu, O. Okuno, T. Okabe, Acta Biomaterialia, 1: 353-356, 2005.
120. Corrosion Characteristics of α -Ti and Ti₂Cu Composing Ti-Cu Alloys
Yukyo TAKADA and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, 24 (4): 610-616, 2005.
121. Evaluation of Ti-Cr-Cu Alloys for Dental Applications
Marie Koike, Masayuki Itoh, Osamu Okuno, Kohei Kimura, Osamu Takeda, and Toru Okabe, Journal of Materials Engineering and Performance, 14 (6): 778-783, 2005.
122. 白金鉄磁石合金および磁性ステンレス鋼の研削性
林 栄成, 高橋正敏, 菊地聖史, 奥野 攻, 木村幸平, 日本磁気菌科学会雑誌, 14 (1): 30-38, 2005.
123. Grindability and mechanical properties of experimental Ti-Au, Ti-Ag and Ti-Cu alloys
Masatoshi Takahashi, Masafumi Kikuchi, Yukyo Takada, Osamu Okuno, International Congress Series, 1284 (2005): 326-327, 2005.
124. Corrosion behavior of the stainless steel composing dental magnetic attachments
Yukyo Takada, Keisuke Nakamura, Kohei Kimura, Osamu Okuno, International Congress Series, 1284 (2005): 314-315, 2005.
125. A study on the computer aided manufacturing system utilizing the tetragonal stabilized zirconia
S. Miura, R. Inagaki, O. Okuno, K. Kimura, International Congress Series, 1284 (2005): 316-317, 2005.
126. Electrochemical behavior of cast Ti-Ag alloys.
Masatoshi Takahashi, Masafumi Kikuchi, Yukyo Takada, Toru Okabe, Osamu Okuno, Dent Mater J, 25 (3): 516-523, 2006.

127. Elastic moduli of cast Ti-Au, Ti-Ag, and Ti-Cu alloys
Masafumi Kikuchi, Masatoshi Takahashi, Osamu Okuno, *Dent Mater*, 22 (7): 641-646 2006.
128. Grindability of cast Ti-Hf alloys
Masafumi Kikuchi, Masatoshi Takahashi, Hideki Sato, Osamu Okuno, Nunn Martha E, Toru Okabe, *J Biomed Mater Res B Appl Biomater*, 77 (1): 34-38, 2006.
129. Age-hardening and related phase transformation in an experimental Ag-Cu-Pd-Au alloy
Hyo-Joung Seol, DOUNG-HUN Lee, Hee-Kyung Lee, Yukyo Takada, Osamu Okuno, Yong Hoon Kwon, Hyung-II Kim, *Journal of Alloys and Compounds*, 407: 182-187, 2006.
130. Orthodontic buccal tooth movement by nickel-free titanium-based shape memory and superelastic alloy wire
Akihiro Suzuki, Hiroyasu Kanetaka, Yoshinaka Shimizu, Ryo Tomizuka, Hideki Hosoda, Shuichi Miyazaki, Osamu Okuno, Kaoru Igarashi, Hideo Mitani, *Angle Orthod*, 76 (6): 1041-1046, 2006.
131. 歯冠用硬質レジンへのレオロジーに関する研究
泉田明男, 友田浩三, 木村幸平, 小松正志, 奥野 攻, *日本補綴歯科学会雑誌*, 50 (3): 396-404, 2006.
132. Fit of metal ceramic crowns cast in Au-1.6 wt% Ti alloy for different abutment finish line curvature
Jianxiang Tao, Masanobu Yoda, Kohei Kimura, Osamu Okuno, *Dent Mater*, 22 (5): 397-404, 2006.
133. CAD/CAM システムにより製作したクラウンのテーパーが適合性に与える影響
加藤裕光, 友田浩三, 丹野雅仁, 笠原 紳, 木村幸平, 奥野 攻, *日本歯科技工学会雑誌*, 27 : 121-127, 2006.
134. Electrochemical behavior and released ions of the stainless steels used for dental magnetic attachments
Y. Takada, N. Takahashi and O. Okuno, *The Journal of the Japanese Society of Magnetic Application in Dentistry*, 16 (2), 49-52, 2007.

135. Galvanic corrosion between dental precious alloys and magnetic stainless steels used for dental magnetic attachments
Noriko Takahashi, Yukyo Takada and Osamu Okuno, Dental Materials Journal, (in press)

IV. 口頭発表 (学会講演)

A. シンポジウム, セミナー, 特別講演

1. ウィスカーの特性と試験法
三浦維四, 奥野 攻, 日本科学技術連盟第2回複合材料シンポジウム, 1969年9月, 東京.
2. モアレ法による繊維強化金属材料のひずみ分布の測定
三浦維四, 奥野 攻, 第14回材料研究連合講演会, 複合材料の弾塑性, 強度, 疲労, 劣化シンポジウム, 1970年9月, 京都.
3. 複合材料の理論と実際
三浦維四, 奥野 攻, 日本金属学会分散強化型合金シンポジウム, 招待講演, 1972年2月, 東京.
4. 金属の“繊維強化”に関する微視力学的研究
三浦維四, 奥野 攻, 日本材料科学会第9回研究発表会シンポジウム「期待される複合材料」, 1972年12月, 東京.
5. 金属系複合材料の製法, 特性および用途
奥野 攻, 日本粉体工業協会技術講座, 1976年11月, 東京.
6. 粒子分散合金の延性破壊に関するモンテカルロシミュレーション
奥野 攻, 三浦維四, 日本複合材料学会第5回複合材料シンポジウム, 1979年11月, 東京.
7. バイオメタルについて
奥野 攻, 日本金属学会関東支部会講演会, 1982年6月, 東京.
8. 多孔性チタンの製法と用途
奥野 攻, 日本機械学会講習会, 軽量化・小型化のための材料と加工, 1983年9月, 東京.

9. 回転電極法による金属粉製造技術
奥野 攻, 粉体粉末冶金協会第5回最新の粉末冶金技術講座, 1987年9月, 東京.
10. New Porous Zirconium-Titanium Alloys for Implants
O.Okuno, UK-Japan Meeting on Biomaterials, October, 1987, Tokyo.
11. 生体内金属材料
奥野 攻, 腐食防食協会 昭和63年度通常総会 特別講演, 1988年2月, 東京.
12. Titanium Casting in Dentistry
O.Okuno, Academic/Industry Joint Conference 1988, Mar., 1988, San Antonio, Texas U.S.A.
13. Titanium Alloys in Dentistry
O.Okuno, H.Hamanaka, I.Miura, The First Symposium of Institute for Medical and Dental Engineering - Commemorative Biomaterial Symposium of Professor Miura's Retirement, April, 1988, Tokyo.
14. Super-elastic Ni-Ti Alloy for Dental Use - Dental Casting and Orthodontic Archwire
T.Yoneyama, O.Okuno, H.Hamanaka, International Implant Symposium in Nagoya, April, 1990, Nagoya.
15. チタン, および金属の腐食
奥野 攻, 日本歯科理工学会関東支部会オープンフォーラム, 1990年3月, 東京.
16. チタンとその合金について
奥野 攻, 平成3年度日本歯科理工学会北海道・東北支部研修会, 1991年8月, 岩手.
17. チタンの歯科応用とその問題点
奥野 攻, 四国歯学会, 1996年9月1日, 徳島.
18. The Outlook for Alloys in Dentistry
O.Okuno, Third International Congress on Dental Materials, November 5, 1997, Hawaii.
19. 歯科鑄造用の新しいチタン合金について
高田雄京, 岡部 徹, 奥野 攻, 第11回歯科チタン研究会, 1998年2月1日, 大阪.

20. 生体用 Ti-15Mo-2.8Nb-0.2Si 合金の歯科鑄造
奥野 攻, 高田雄京, 飯島一法, 岡部 徹, 渡辺郁哉, 第12回歯科チタン研究会, 1999年 2月20日, 千葉.
21. パラジウムを含まない生体新和性合金の特性
奥野 攻, 日本歯科理工学会, 日本補綴歯科学会共催シンポジウム, 1999年 4月 2日, 川崎.
22. 陶材築盛の自動化による歯科用 CAD/CAM システムの開発
菊地聖史, 奥野 攻, 第16回ラビッド・プロトタイピングシンポジウム, 1999年 5月27日, 広島.
23. 抗アレルギー性歯科用鑄造合金の開発
奥野 攻, 第125回日本金属学会オーバービュー講演, 1999年11月22日, 金沢.
24. 生体用磁性材料の腐食挙動
奥野 攻, 第126回腐食防食シンポジウム, 1999年12月 3日, 東京.
25. チタン鑄造床義歯の問題点を探る－純チタン VS チタン合金鑄造の現状と将来
奥野 攻, 歯科チタン研究会, 2000年 2月19日, 鶴見.
26. 磁性アタッチメントの腐食学
奥野 攻, 第14回エム・イー学会秋期大会オーガナイズドセッション, 2000年10月26日, 徳島.
27. 歯科用快削チタン合金の開発
高田雄京, 菊地聖史, 奥野 攻, 日本金属学会, 2000年11月 6日, 東京.
28. Machinability of experimental titanium alloys
M.Kikuchi, M.Takahashi, Y.Takada, K.Iijima, O.Okuno, The Fifth International Symposium on Titanium in Dentistry, 2001. Jun. 30, 2001, Chiba.
29. Bond Strength of Porcelain to Experimental Titanium Alloys
M.Yoda, T.Konno, Y.Takada, J.Griggs, O.Okuno, K.Kimura, T.Okabe, The Fifth International Symposium on Titanium in Dentistry, Jun. 30, 2001, Chiba.
30. Clinical application and bio-safety of Au-Ti alloys
O.Tujimoto, M.Otsuka, O.Okuno, K.Kimura, The First International Meeting on Titanium in Dental Technology, Jun. 30-July. 1, 2001, Chiba.

31. チタンおよびチタン合金の応用と進展
小田 豊, 埴 隆夫, 奥野 攻, 米山隆之, 岡崎義光, 第38回日本歯科理工学会, 2001年10月20日, 福岡.

32. 「鑄造用金銀パラジウム合金に関する歯科理工学的研究実態と, それに代わりうる歯科材料の研究の現状について」 1) 代替材料の可能性と銀銀パラジウム合金の文献調査 2) 金銀パラジウム合金に近接した基本的合金組成のデータベースの構築①合金組成の決定と試作合金について②試作合金の性質について
根本君也, 大野弘機, 奥野 攻, 小田 豊, 高橋純造, 久恒邦博, 吉田隆一, 窪田隆夫, 野原 建, 成瀬重靖, 飯塚恵文, 俣田浩一, 高橋利勝, 佐藤敏明, 第39回日本歯科理工学会, 2002年 4 月13日, 東京.

33. 最近の非金属系歯科用合金の動向
奥野 攻, 特別講座, 平成14年度北海道・東北支部夏期セミナー, 2002年 7 月20日, 小樽.

34. Improving grindability and wear resistance of titanium alloys
Toru Okabe, Masafumi Kikuchi, Chikahiro Ohkubo, Marie Koike, Osamu Okuno, Yutaka Oda, TMS Annual Meeting and Exhibition, March. 14-18, 2004, Charlotte, NC.

35. Development and standardization of the dental magnetic attachment
O. Okuno, Y. Kinouchi, Y. Tanaka, H. Mizutani, T. Hosoi, Y. Takada, T. Ishigami, A. Caputo and T. Okabe, NEDO International Symposium: Development and Standardization of the Dental Magnetic Attachment, Oct. 29, 2006, Takamatsu.

36. Electrochemical behavior and released ions of the stainless steels for use of dental magnetic attachments
Y. Takada, M. Koike, T. Okabe and O. Okuno, NEDO International Symposium Development and Standardization of the Dental Magnetic Attachment, Oct. 29, 2006, Takamatsu.

37. Ion release from dental magnetic attachments
M. Koike, T. Okabe, Y. Takada and O. Okuno, NEDO International Symposium Development and Standardization of the Dental Magnetic Attachment, Oct. 29, 2006, Takamatsu.

38. Corrosion resistance and biocompatibility of dental magnetic attachments
Osamu Okuno, The 2nd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai, February 18-19, 2007, Sendai.

39. Electrochemical behavior and released ions of the stainless steels used for dental magnetic attachments
Y.Takada, N.Takahashi and O.Okuno, 6th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry (JSMAD), Mar. 1-20, 2007. Takamatsu.
40. 新規医療用バイオマテリアルとしての磁性合金の耐食性と生体適合—その開発と標準化の道程—
奥野 攻, 第4回東北大学バイオサイエンスシンポジウム—生命科学研究最前線 基礎から応用へ—, 2007年6月4日, 仙台.
41. Development of titanium alloys for dental CAD/CAM
O. Okuno, M. Kikuchi, M. Takahashi, Y. Takada, H. Sato, R. Inagaki, The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry, June 5, 2007, Kyoto.
42. Development of a new dental titanium alloy with improved machinability
M. Kikuchi, M. Takahashi, Y. Takada, O. Okuno, The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry, June 5, 2007, Kyoto.
43. Released ions from cast Ti-Ag alloys in NaCl solution
M. Takahashi, Y. Takada, M. Kikuchi, O. Okuno, The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry, June 5, 2007, Kyoto.
44. Titanium for mandibular removable denture bases: A clinical report
A. Tsuboi, Y. Takada, O. Okuno, M. Watanabe, The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry, June 5, 2007, Kyoto.
45. Mechanical properties of recycled CP titanium after casting
H. Sato, B. Shao, O. Okuno, T. Okabe, M. Komatsu, The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry, June 5, 2007, Kyoto.
46. The bond strength of porcelain to CAD/CAM machined pure titanium
R. Inagaki, M. Yoda, M. Kikuchi, K. Kimura, O. Okuno, The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry, June 5, 2007, Kyoto.
47. Effects of beta-stabilizing elements on the characteristics of binary titanium alloys
Y. Takada, M. Kikuchi, M. Takahashi, O. Okuno, The 6th International Symposium on Titanium in Dentistry, June 5, 2007, Kyoto.
48. Effects of a static magnetic field on osteogenesis in vivo
Y. Takada, M. Kikuchi, M. Takahashi, O. Okuno, Symposium on the Nano Particle and Highly-functional Interface Science, Aug. 9-10, 2007/08/26, Yamagata.

49. 海外製磁性アタッチメントの内部構造と材質

高田雄京, 奥野 攻, NEDO グラントシンポジウム：海外の磁性アタッチメント, 2007年11月18日, 東京

B. 一般講演

1. 繊維を含む金属の引張による応力分布

三浦維四, 奥野 攻, 岡田 健, 日本金属学会第66回大会, 1970年4月, 東京.

2. 繊維複合材料のマイクロメカニックス的研究(第2報)

奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会第68回大会, 1971年4月, 東京.

3. 金属マトリックス中の繊維の相互作用,

奥野 攻, 三浦維四, 田中達夫, 日本金属学会第71回大会, 1972年10月, 名古屋.

4. 短繊維強化合金における繊維の重なりとひずみ分析

奥野 攻, 三浦維四, 材料科学会昭和49年度学術講演会, 1974年5月, 東京.

5. セラミックウイスキーの繰返し引張強さ

三浦維四, 奥野 攻, 日本金属学会第76回大会, 1975年4月, 東京.

6. 金属マトリックス中の繊維の相互作用

奥野 攻, 三浦維四, 日本複合材料学会第5回月例研究会, 1975年10月, 東京.

7. モンテカルロ・シミュレーションによる複合合金の強度と破壊の解析(第1報) 繊維強化の場合

奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会第80回大会, 1977年4月, 東京.

8. モンテカルロシミュレーションによる延性破壊解析の試み

奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会第82回大会, 1978年4月, 東京.

9. 回転電極法によるチタン, ジルコニウム球形粉の製造について

奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会第84回大会, 1979年4月, 東京.

10. モンテカルロシミュレーションによる延性破壊解析－せん断クラックと内部ネッキング

奥野 攻, 三浦維四, 日本金属学会第84回大会, 1979年4月, 東京.

11. 歯科用 Pd-Co-Ni 系磁性合金の研究
原田晴海, 奥野 攻, 三浦維四, 宮崎 健, 山田宏秀, 第36回歯科理工学会
学術講演会, 1979年 5 月, 長野.
12. パラジウム基 3 元アマルガム合金に関する研究 (第 1 報) - 粒度及び形状に
よる寸法変化と機械的性質 -
安村 庸, 浜中人士, 奥野 攻, 三浦維四, 第36回歯科理工学会学術講演会,
1979年 5 月, 長野.
13. パラジウム基 3 元アマルガム合金に関する研究 (第 2 報) - 耐食性につ
いて -
安村 庸, 浜中人士, 奥野 攻, 三浦維四, 第36回歯科理工学会学術講演会,
1979年 5 月, 長野.
14. Ni 合金と陶材との焼付けに関する基礎的研究 - 特に Cr, Co 添加の影響につ
いて -
川崎 泰, 奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 第36回歯科理工学会学術講演会,
1979年 5 月, 長野.
15. チタン合金およびジルコニウム合金の医歯学的応用 第 1 報 球形粉の製造
とそれによる多孔性材料について
三浦維四, 奥野 攻, 川原春幸, 中村正明, 今井弘一, 第 1 回日本バイオマ
テリアル学会大会, 1979年 9 月, 仙台.
16. チタン合金およびジルコニウム合金の医歯学的応用 第 2 報 組織接着性
(なじみ) について (in vitro)
今井弘一, 川原春幸, 中村正明, 三浦維四, 奥野 攻, 第 1 回日本バイオマ
テリアル学会大会, 1979年 9 月, 仙台.
17. 歯科用 Pd-Co-Ni 系磁性合金の研究 (第 2 報)
原田晴海, 奥野 攻, 三浦維四, 藍 稔, 水谷 紘, 石幡伸雄, 加賀谷忠樹,
小島正信, 宮崎 健, 山田宏秀, 第38回歯科理工学会学術講演会, 1980年 5
月, 東京.
18. 歯科用 Pd-Co-Ni 系磁性合金の研究 (第 3 報)
中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 宮崎 健, 山田宏秀, 筒井英夫, 佐々木英樹,
木内陽介, 第38回歯科理工学会学術講演会, 1980年 5 月, 東京.
19. チタン合金およびジルコニウム合金の医歯学的応用 第 3 報 多孔性生体材
料の機械的性質について
三浦維四, 奥野 攻, 川原春幸, 今井弘一, 中村正明, 第 2 回バイオマテ
リアル学会大会, 1980年 9 月, 東京.

20. 均一核生成－成長モデルによる凝固組織形態のコンピューターシミュレーション
三浦維四, 森 福孝, 奥野 攻, 日本金属学会第87回大会, 1980年10月, 福岡.
21. 磁性合金の補綴領域における応用 (第1報)－実用的精度－
石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 原田晴海, 奥野 攻, 三浦維四, 日本補綴歯科学会東海支部学会, 1980年10月, 名古屋.
22. 多孔性チタンおよびジルコニウムインプラントの研究
奥野 攻, 原田晴海, 三浦維四, 川原春幸, 中村正明, 今井弘一, 第40回歯科理工学会学術講演会, 1981年5月, 徳島.
23. 磁性合金の基礎的研究
石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 三浦維四, 奥野 攻, 原田晴海, 顎顔面補綴学会講演, 1981年6月, 東京.
24. 磁性合金の補綴領域における応用 (第2報) 根面維持装置として使用した場合の応用例
石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 原田晴海, 奥野 攻, 三浦維四, 日本補綴歯科学会学術大会, 1981年10月, 東京.
25. 鑄造用 Pd-Co-Ni 系磁性合金の研究
奥野 攻, 三浦維四, 原田晴海, 原 正明, 宮崎 健, 山田宏秀, 第3回日本バイオマテリアル学会大会, 1981年11月, 京都.
26. セレン添加によるアマルガムの安全化に関する研究
糸井康弘, 佐藤温重, 奥野 攻, 三浦維四, 第41回歯科理工学会学術講演会, 1981年11月, 東京.
27. 金属複合材料における破壊のモンテカルロシミュレーション
奥野 攻, 日本複合材料学会第50回月例研究会, 1982年1月, 東京.
28. セレン添加によるアマルガムの安全化に関する研究 (第2報)－セレン添加アマルガム合金について－
奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 糸井康宏, 佐藤温重, 第1回日本歯科理工学会学術講演会, 1982年4月, 東京.
29. 歯科用 Au-Co-Ni 系磁性合金の研究 (第1報)
原 正明, 奥野 攻, 三浦維四, 石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 岡 暢, 宮崎 健, 第2回日本歯科理工学会学術講演会, 1982年10月, 札幌.

30. Strain Analysis in Discontinuous Fiber Reinforced Metals Using the Moire Grid Method
O.Okuno, I.Miura, International Conference on Composite Materials-IV, October, 1982, Tokyo.
31. チタン合金およびジルコニウム合金の医歯学的応用（第4報）多孔性生体材料の応力解析について
浅岡憲三, 桑山則彦, 奥野 攻, 三浦維四, 今井弘一, 川原春幸, 第4回日本バイオマテリアル学会大会, 1982年11月, 東京.
32. セレン添加によるアマルガムの安全化に関する研究（第3報）Ag-Sn-Cu-Se合金粉によるアマルガム
奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 衆井康宏, 佐藤温重, 第2回日本歯科理工学会学術講演会, 1983年4月, 京都.
33. 鑄造用チタン合金の研究
奥野 攻, 清水 彰, 堀 春彦, 溝口勝広, 三浦維四, 第2回日本歯科理工学会学術講演会, 1983年4月, 京都.
34. Celluler Response to New Bio-alloys of Titanium for Porous Structure, in vitro
H.Kawahara, K.Imai, I.Miura, O.Okuno, 9th Annual Meeting of the Society for Bio-Materials, April, 1983, Birmingham, Arabama.
35. 磁性アタッチメントの形状の研究
原 正明, 奥野 攻, 三浦維四, 木内陽介, 牛田富之, 筒井英夫, 宮崎 健, 第2回日本歯科理工学会学術講演会, 1983年4月, 京都.
36. 回転電極法による高融点金属粉の作製,
奥野 攻, 三浦維四, 日本材料科学会 昭和58年度学術講演会, 1983年5月, 東京.
37. 磁性アタッチメントの形状の研究（第2報）
原 正明, 奥野 攻, 三浦維四, 木内陽介, 吉田幸子, 石幡伸雄, 藍 稔, 宮崎 健, 日本歯科理工学会, 関東, 東北・北海道, 中部3支部連合講演会, 1983年10月, 新潟.
38. チタン合金およびジルコニウム合金の医歯学的応用（第5報）多孔性材料の強度と破壊
浅岡憲三, 桑山則彦, 奥野 攻, 三浦維四, 川原春幸, 今井弘一, 第5回日本バイオマテリアル学会大会, 1983年11月, 大阪.

39. 歯科用 Au-Co-Ni 系磁性合金の研究 (第 2 報)
原 正明, 奥野 攻, 三浦維四, 藍 稔, 水谷 紘, 石幡伸雄, 宮崎 健,
第 3 回日本歯科理工学会学術講演会, 1984年 4 月, 福岡.
40. セレン添加によるアマルガムの安全化に関する研究 (第 4 報) - 細胞毒性と
突然変異原性について -
麻生田 泉, 糸井康弘, 佐藤温重, 奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 第 3 回
日本歯科理工学会学術講演会, 1984年 4 月, 福岡.
41. セレン添加によるアマルガムの安全化に関する研究 (第 5 報) - 耐食性に
ついて -
奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 糸井康弘, 佐藤温重, 第 3 回日本歯科理工
学会学術講演会, 1984年 4 月, 福岡.
42. 陶材焼付用磁性合金の研究
中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 宮崎 健, 第 3 回日本歯科理工学会学術講
演会, 1984年 4 月, 福岡.
43. 铸造用チタン合金の研究 (第 2 報)
奥野 攻, 清水 彰, 三浦維四, 第 3 回日本歯科理工学会学術講演会, 1984
年 4 月, 福岡.
44. New Porous Zirconium-Titanium Alloys for Implant
O.Okuno, I.Miura, H.Kawahara, M.Nakamura, K.Imai, 2nd World Congress on
Biomaterials, April-May, 1984, Washington D.C.
45. 磁性合金の铸造性と耐食性について
中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 第10回 DMA 研究会, 1984年12月, 東京.
46. 铸造用チタン合金の研究 (第 3 報)
清水 彰, 奥野 攻, 三浦維四, 第 5 回日本歯科理工学会学術講演会, 1985
年 4 月, 松本.
47. The Mesh Monitor for Casting Characterization
J.A.Tesk, O.Okuno, R.W.Penn, S.Hirano, H.R.Kase, Noble Metals Fabrications &
Technology Seminar, International Precious Metals Institute, September, 1985,
Jerusalem Israel.
48. 歯科用 Co-Pd-Cr 系合金の基礎的研究
中野 毅, 奥野 攻, 清水 彰, 三浦維四, 第 6 回日本歯科理工学会学術講
演会, 1985年10月, 盛岡.

49. Mesh Monitor Casting of Dental Alloys - Element Effect
J.A.Tesk, O.Okuno, R.Penn, Annual Session American Association for Dental Research, March 1986, Washington D.C. U.S.A.
50. Mesh Monitor Casting of Dental Alloys - Investment Effect
O.Okuno, J.A.Tesk, R.Penn, Annual Session American Association for Dental Research, March 1986, Washington D.C. U.S.A.
51. 多孔性ジルコニウム-チタン人工歯根の研究 (第1報) - 多孔材の基礎的性質 -
柴田直幸, 奥野 攻, 三浦維四, 川原春幸, 今井弘一, 第7回日本歯科理工学会学術講演会, 1986年4月, 横須賀.
52. Co合金と陶材との焼き付けに関する基礎的研究
石崎雅一郎, 中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 第7回日本歯科理工学会学術講演会, 1986年4月, 横須賀.
53. 歯科鑄造のためのチタン合金に関する研究
奥野 攻, 中野 毅, 清水 彰, 三浦維四, チタンの歯科利用に関する研究会, 1986年8月, 京都.
54. 多孔性 Zr-Ti 合金インプラントへの骨の成長進入
柴田直幸, 奥野 攻, 三浦維四, 川原春幸, 第8回日本バイオマテリアル学会大会, 1986年11月, 東京.
55. 多孔性 Zr-Ti 合金インプラントの機械的性質
奥野 攻, 柴田直幸, 三浦維四, 川原春幸, 第8回日本バイオマテリアル学会大会, 1986年11月, 東京.
56. チタンおよびチタン合金鑄造体の機械的性質の検討
奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 第9回日本歯科理工学会学術講演会, 1987年4月, 長崎.
57. 多孔性ジルコニウム-チタン人工歯根の研究 (第2報) - 多孔材と硬組織および軟組織との反応
柴田直幸, 奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 第9回日本歯科理工学会学術講演会, 1987年4月, 長崎.
58. 多孔性 Zr-Ti インプラントの動物実験的研究
柴田直幸, 奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 川原春幸, 第17回日本インプラント学会, 1987年7月, 札幌.

59. 多孔性 Zr-Ti 合金インプラントへの骨の成長進入 第2報
柴田直幸, 奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 川原春幸, 第9回バイオマテリアル学会, 1987年11月, 東京.
60. 磁性アタッチメントの極限性能の検討
木内陽介, 奥野 攻, 第16回 DMA 研究会, 1987年12月, 東京.
61. 白金コバルト磁石の吸引力
奥野 攻, 木内陽介, 第16回 DMA 研究会, 1987年12月, 東京.
62. Pd-Co-Ni-Au-Zn 磁性合金の耐食性
中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 第16回 DMA 研究会, 1987年, 12月, 東京.
63. 歯科鑄造用チタン合金の機械的性質の評価
奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 伊藤実希夫, 藍 稔, 第2回チタンの歯科利用に関する研究会, 1987年12月, 東京.
64. 超塑性チタン合金の歯科への応用－義歯床に関する基礎的検討－
奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 岡田 稔, 第11回歯科理工学会学術講演会, 1988年4月, 名古屋.
65. 歯科用チタン合金の陶材焼成－雰囲気の影響－
中野 毅, 奥野 攻, 三浦維四, 第11回歯科理工学会学術講演会, 1988年4月, 名古屋.
66. Biomechanical and Morphological Evaluations of the Porous Zirconium-Titanium Implants
O.Okuno, N.Shibata, T.Nakano, I.Miura, H.Kawahara, 3rd World Biomaterials Congress, April, 1988, Kyoto Japan.
67. 超塑性チタン合金の床義歯への応用 第1報 適合性について
伊藤実希夫, 藍 稔, 奥野 攻, 三浦維四, 第79回日本補綴歯科学会学術大会, 1988年5月, 東京.
68. Titanium Alloys for Prosthetic Use
O.Okuno, 1988 MRS International Meeting on Advanced Materials, May 30-June 3, 1988, Tokyo.
69. 磁性アタッチメントの極限性能の検討Ⅱ
奥野 攻, 木内陽介, 第17回 DMA 研究会, 1988年7月, 名古屋.

70. 歯科鑄造用チタン合金の曲げ疲労特性
伊藤実希夫, 奥野 攻, 藍 稔, 第12回日本歯科理工学会学術講演会, 1988年9月, 札幌.
71. 磁性アタッチメントにおける磁石の防食構造について
奥野 攻, 中野 毅, 木内陽介, 第18回 DMA 研究会, 1988年12月, 東京.
72. 磁性アタッチメントの極限性能の検討Ⅲ
奥野 攻, 木内陽介, 第18回 DMA 研究会, 1988年12月, 東京.
73. 磁性コンポジットレジンの試作
平野 進, 平澤 忠, 奥野 攻, 第18回 DMA 研究会, 1988年12月, 東京.
74. 閉磁路型磁性アタッチメントの維持力解析
木内陽介, 牛田富之, 奥野 攻, 第18回 DMA 研究会, 1988年12月, 東京.
75. Nd-Fe-B 磁石によるサンドイッチ型歯科用磁性維持装置について
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 木内陽介, 第13回日本歯科理工学会学術講演会, 1989年4月, 千葉.
76. 歯科用チタン合金の耐食性
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 第13回日本歯科理工学会学術講演会, 1989年4月, 千葉.
77. 磁性金属フィラーを含むコンポジットレジン
平野 進, 平澤 忠, 奥野 攻, 第13回日本歯科理工学会学術講演会, 1989年4月, 千葉.
78. Finite Element Analysis of Magnet Devices for Retaining Dentures
Y.Kinouchi, K.Ohsawa, T.Ushita, O.Okuno, 10th International Workshop on Rare-Earth Magnets and Their Applications, May, 1989, Kyoto Japan.
79. Encapsulated Sandwich Type Dental Magnetic Retainers by Nd-Fe-B Magnet and Permendur Yoke
O.Okuno, T.Nakano, H.Hamanaka, Y.Kinouchi, 10th International Workshop on Rare-Earth Magnets and Their Applications, May, 1989, Kyoto Japan.
80. 超塑性チタン合金の床義歯への応用 第2報 機械的性質について
若林則幸, 藍 稔, 奥野 攻, 第81回日本補綴歯科学会学術大会, 1989年5月, 長野.

81. チタン合金鑄造床の力学的検討
伊藤実希夫, 藍 稔, 奥野 攻, 第81回日本補綴歯科学会学術大会, 1989年
5月, 長野.
82. カップヨーク型閉磁路磁性アタッチメントの製作精度と磁力の関係
木内陽介, 奥野 攻, 第19回 DMA 研究会, 1989年7月, 小倉.
83. 円柱横方向磁石によるアタッチメント
奥野 攻, 木内陽介, 星合和基, 石幡伸雄, 浜中人士, 第19回 DMA 研究会,
1989年7月, 小倉.
84. 超塑性チタン合金の歯科への応用－成形性の検討－
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 若林則幸, 藍 稔, 第14回日本歯科理工学
会学術講演会, 1989年9月徳島, 徳島.
85. Mechanical behavior of dental casting Ti-Cr alloy
O.Okuno, T.Nakano, H.Hamanaka, M.Ito, M.Ai, Joint Meeting of ADM & JSDMD,
November 1-4, 1989, Honolulu, HI, USA.
86. リン酸塩系埋没材に鑄造したチタンおよびチタン合金について
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 第54回口腔病学会学術大会, 1989年12月,
東京.
87. 希土類系磁石および磁性ステンレス鋼の耐食性
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 第20回 DMA 研究会, 1989年12月, 東京.
88. 超塑性チタン合金の成形性
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 若林則幸, 藍 稔, 第3回歯科チタン研究
会, 1990年1月, 東京.
89. 鑄造用 β チタン合金の機械的性質
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 第3回歯科チタン研究会, 1990年1月, 東
京.
90. 超塑性合金の補綴臨床への応用の可能性
若林則幸, 藍 稔, 奥野 攻, 第3回歯科チタン研究会, 1990年1月, 東京.
91. 超塑性チタン合金の歯科への応用－拡散接合の検討－
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 若林則幸, 藍 稔, 第15回日本歯科理工学
会学術講演会, 1990年4月3日, 鹿児島.

92. レビテーション溶解のチタン鑄造機への応用
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 猪口泰州, 第15回日本齒科理工学会学術講演会, 1990年4月, 鹿児島.
93. 齒科鑄造用チタン合金の研究
奥野 攻, 日本材料科学会学術講演会, 1990年5月, 東京.
94. 閉磁路型磁性アタッチメントの比較
木内陽介, 奥野 攻, 第21回 DMA 研究会, 1990年7月, 徳島.
95. 希土類系磁石の口腔内環境下での変化
木次朝日, 奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 黒田敬之, 第21回 DMA 研究会, 1990年7月, 徳島.
96. 希土類系磁石の口腔内環境下での腐食
木次朝日, 奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 黒田敬之, 第16回日本齒科理工学会学術講演会, 1990年10月, 神奈川.
97. 閉磁路型磁性アタッチメントのヨーク断面積と吸引力の関係
木内陽介, 大澤勝市, 奥野 攻, 第22回 DMA 研究会, 1990年12月1日, 東京.
98. 磁性アタッチメントの吸引力と義歯の維持力に関する実験的研究
石川 晋, 藍 稔, 水谷 紘, 奥野 攻, 第22回 DMA 研究会, 1990年12月, 東京.
99. Pt-Fe 系磁石の齒科応用の可能性について
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 木内陽介, 藍 稔, 第22回 DMA 研究会, 1990年12月, 東京.
100. 超塑性チタン合金床義歯の歪分布
若林則幸, 藍 稔, 奥野 攻, 第4回齒科チタン研究会, 1991年1月, 東京.
101. 耐食構造を有するカップヨーク型磁性アタッチメントの開発
石川 晋, 石幡伸雄, 水谷 紘, 藍 稔, 奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 木内陽介, 山田宏秀, 第17回齒科理工学会学術講演会, 1991年5月, 東京.
102. 新しい Pt-Fe 磁石の磁気特性と耐食性
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 松井康浩, 第17回齒科理工学会学術講演会, 1991年5月, 東京.

103. 4-META 処理した SUS316L 粉末を含むコンポジットレジン硬化特性
平野 進, 平沢 忠, 奥野 攻, 浜中人士, 第17回歯科理工学会学術講演会,
1991年 5 月, 東京.
104. 磁性合金の補綴臨床への応用, 第 6 報 耐食構造を有する磁性アタッチメントの研究
石川 晋, 藍 稔, 水谷 紘, 石幡伸雄, 中村和夫, 奥野 攻, 木内陽介,
第85回日本補綴歯科学会学術大会, 1991年 5 月, 福岡.
105. Ni-Ti 合金鑄造体の機械的性質に及ぼす不純物の影響
米山隆之, 土居 寿, 奥野 攻, 浜中人士, 第17回日本歯科理工学会学術講演会, 1991年 5 月, 東京.
106. インゴットの純度による純チタン鑄造体の硬さの変化
土居 寿, 米山隆之, 奥野 攻, 浜中人士, 第17回日本歯科理工学会学術講演会, 1991年 5 月, 東京.
107. 陶材の熱膨張率とチタンおよび β 型チタン合金への焼付け強さ
奥野 攻, 中野 毅, 浜中人士, 第17回歯科理工学会学術講演会, 1991年 5 月, 東京.
108. Retention Capacity of Magnetic Attachment
Y.Kinouchi, O.Okuno, WCP (World Congress on Prosthodontics) Hiroshima,'91,
September, 1991, Hiroshima Japan.
109. Experimental Studies on Retention of Dentures with Magnetic Attachment Part
1 Change in Condition of Magnetic Attachment
S.Ishikawa, M.Ai, O.Okuno, WCP (World Congress on Prosthodontics)
Hiroshima'91, September, 1991, Hiroshima Japan.
110. 熱処理を施した Ni-Ti 合金線の曲げ特性
米山隆之, 土居 寿, 奥野 攻, 浜中人士, 山本 真, 黒田敬之, 第18回日本歯科理工学会学術講演会, 1991年10月, 岐阜.
111. マグネシア系鑄型材を用いた Ni-Ti 合金鑄造体の機械的性質
土居 寿, 米山隆之, 小竹雅人, 奥野 攻, 浜中人士, 第18回日本歯科理工学会学術講演会, 1991年10月, 岐阜.
112. カップヨーク型磁性アタッチメントの開発経緯
山田宏秀, 飯村 勉, 水谷 紘, 奥野 攻, 木内陽介, 第 1 回日本磁気歯科学会学術大会, 1991年12月, 東京.

113. 白金鉄磁石を用いた埋伏歯の臨床例
木次朝日, 大山紀美栄, 黒田敬之, 奥野 攻, 浜中人士, 第1回日本磁気歯科学会学術大会, 1991年12月, 東京.
114. 磁性アタッチメントシステムの耐食性
飯室隆子, 中野 毅, 奥野 攻, 浜中人士, 藍 稔, 第1回日本磁気歯科学会学術大会, 1991年12月, 東京.
115. Bending Properties and Transformation Temperature of Heat Treated Superelastic Ni-Ti Alloy Wire for Orthodontics
T.Yoneyama, H.Doi, O.Okuno, H.Hamanaka, M.Yamamoto, T.Kuroda, Second International Symposium on Titanium in Dentistry (5th Meeting of the Society for Titanium Alloys in Dentistry), January, 1992, Kyoto.
116. Ti-6Al-4V Alloy Denture Base by Superplastic Forming
O.Okuno, T.Nakano, H.Hamanaka, N.Wakabayashi, M.Itoh, M.Ai, I.Katoh, Second International Symposium on Titanium in Dentistry (5th Meeting of the Society for Titanium Alloys in Dentistry), January, 1992, Kyoto.
117. Adaptability of the Superplastic Titanium Alloy Denture
N.Wakabayashi, M.Itoh, M.Ai, O.Okuno, Second International Symposium on Titanium in Dentistry (5th Meeting of the Society for Titanium Alloys in Dentistry), January, 1992, Kyoto.
118. Influence on Casting Rate of Titanium with a Rotational Pressure-suction Casting Machine
H.Doi, T.Yoneyama, M.Kotake, O.Okuno, H.Hamanaka, Second International Symposium on Titanium in Dentistry (5th Meeting of the Society for Titanium Alloys in Dentistry), January, 1992, Kyoto.
119. Porcelain Bonded to Dental Casting Beta Titanium Alloys
O.Okuno, T.Nakano, T.Yoneyama, H.Hamanaka, Second International Symposium on Titanium in Dentistry (5th Meeting of the Society for Titanium Alloys in Dentistry), January, 1992, Kyoto.
120. 異種金属材料の組合せによる腐食溶出について
飯室隆子フロレンチーナ, 中野 毅, 土屋 寿, 奥野 攻, 浜中人士, 第19回日本歯科理工学会, 1992年 5月, 郡山.
121. 超塑性チタン合金の金ろうによるろう付について
中野 毅, 浜中人士, 奥野 攻, 中野和幸, 第20回日本歯科理工学会, 1992年 9月, 東京.

122. 電解質水溶液中における Ti-Zr 合金の表面の変化
塙 隆夫, 奥野 攻, 浜中人士, 第20回日本歯科理工学会, 1992年 9月, 東京.
123. Ti-Zr 合金の擬似体液中での表面の変化
塙 隆夫, 奥野 攻, 日本金属学会北海道支部平成4年度秋季講演大会, 1992年11月27日, 室蘭.
124. 磁性ステンレス鋼の改良による磁性アタッチメントの小型化について
奥野 攻, 木内陽介, 第2回日本磁気歯科学会, 1992年12月, 小倉.
125. 磁性アタッチメントにおける磁性ステンレス鋼キーパーのMRIへの影響,
飯室隆子フロレンチーナ, 中野 毅, 浜中人士, 奥野 攻, 八杉幸浩, 第2回日本磁気歯科学会, 1992年12月, 小倉.
126. 超塑性成形したチタン合金板へのろう付について
中野 毅, 浜中人士, 奥野 攻, 中野和幸, 第6回歯科チタン研究会, 1993年1月, 新潟.
127. 生体用形状記憶合金に関する研究(第7報) — TiPd系合金におけるPdの一部置換元素と変態温度—
高田雄京, 片倉直至, 細谷 誠, 飯島一法, 奥野 攻, 第21回日本歯科理工学会, 1993年4月, 広島.
128. 生体用形状記憶合金に関する研究(第8報) — TiPd系合金におけるPdの一部置換元素と耐食性—
高田雄京, 片倉直至, 細谷 誠, 飯島一法, 奥野 攻, 第21回日本歯科理工学会, 1993年4月, 広島.
129. カップヨーク型磁性アタッチメントの高性能化に関する研究 第1報 吸引力の向上について
奥野 攻, 山田宏秀, 第21回日本歯科理工学会, 1993年4月, 広島.
130. カップヨーク型磁性アタッチメントの高性能化に関する研究 —薄型化について—
山田宏秀, 奥野 攻, 木内陽介, 第22回日本歯科理工学会, 1993年9月, 北九州.
131. マウスプロテクティング材の動的粘弾性
片倉直至, 高田雄京, 菊地聖史, 飯島一法, 奥野 攻, 細谷 誠, 第22回日本歯科理工学会, 1993年9月, 北九州.

132. 歯科用合金の組み合わせによる腐食機構—貴金属合金／チタン合金—
高田雄京, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 田中謙一, 手島貞一, 第22回日本歯科理工学会, 1993年 9 月, 北九州.
133. The Super-plastic Formability of Ti-6Al-4V Alloys
Osamu Okuno and Yukyo Takada , Second International Congress on Dental Materials, November, 1993, Hawaii.
134. 最適設計されたカップヨーク型磁性アタッチメントの吸引力, 磁束分布
鈴木弘也, 山田宏秀, 奥野 攻, 木内陽介, 第 3 回日本磁気菌科学会, 1993年11月, 名古屋.
135. カップヨーク型磁性アタッチメントの吸引力, 磁束分布の検討
山田宏秀, 鈴木弘也, 奥野 攻, 木内陽介, 第 3 回日本磁気菌科学会, 1993年11月, 名古屋.
136. 磁性ステンレス鋼及び純チタンと歯科用貴金属合金の組み合わせによる腐食
高田雄京, 奥野 攻, 第 3 回日本磁気菌科学会, 1993年11月, 名古屋.
137. 磁性ステンレス鑄造クラウン型キーパーを有髄歯に用いた磁性アタッチメントの臨床例
佐々木英機, 木内陽介, 奥野 攻, 第 3 回日本磁気菌科学会, 1993年11月, 名古屋.
138. 試作金パラ合金の諸性質について, 特に繰返し鑄造の影響
飯島一法, 菊地聖史, 高田雄京, 片倉直至, 奥野 攻, 向山宣淳, 細谷 誠, 木村幸平, 稲垣亮一, 本間久夫, 第24回東北大学歯学会, 1993年12月, 仙台.
139. TiPd 系生体用形状記憶合金の耐食性
高田雄京, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 第 7 回歯科チタン研究会, 1994年 1 月, 仙台.
140. チタン合金と貴金属合金のガルバニ腐食
田中謙一, 手島貞一, 高田雄京, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 第 7 回歯科チタン研究会, 1994 年 1 月, 仙台.
141. 歯科用合金の組み合わせによる腐食機構 (第 2 報) —歯科鑄造用合金／チタン合金におけるイオン溶出—
田中謙一, 手島貞一, 高田雄京, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 第23回日本歯科理工学会, 1994年 4 月, 松戸.

142. コンピュータを用いた陶材の自動築盛の試み
菊地聖史, 奥野 攻, 高久田和夫, 宮入裕夫, 第23回日本歯科理工学会,
1994年4月, 松戸.
143. 焼結金属を用いた陶材焼付前装冠に関する基礎的検討—第3報—
今野龍彦, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 稲垣亮一, 第91回日本補綴歯科
学会, 1994年6月, 新潟.
144. 磁性アタッチメントの耐食性について
高田雄京, 奥野 攻, 第9回日本歯科産業学会, 1994年7月, 北海道.
145. マウスガードの組成と力学的性質
片倉直至, 奥野 攻, 細谷 誠, 日本歯科理工学会 北海道・東北支部夏期
セミナー, 1994年8月, 仙台.
146. ステンレス鋼とチタン, 金銀パラジウム合金の接合における自然電極電位の
逆転と腐食挙動
高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 第24回日本歯科理工学会, 1994年9月, 新
潟.
147. コンピュータを用いた陶材の自動築盛の試み—焼成体の検討—
菊地聖史, 奥野 攻, 高久田和夫, 宮入裕夫, 第24回日本歯科理工学会,
1994年9月, 新潟.
148. 各種鋳型材によるチタン鋳造体の疲労特性
飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第24回日本歯科理工学会, 1994年9月, 新
潟.
149. 粘膜調整材の組成と流動特性
細谷 誠, 片倉直至, 八代浩次, 豊田丈爾, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻,
第92回日本補綴歯科学会, 1994年11月3日, 鹿児島.
150. 耐火模型法によるセラミッククラウンの適合精度について—第1報—
山崎尚哉, 毛取達郎, 今野龍彦, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 稲垣亮一,
第92回日本補綴歯科学会, 1994年11月3日, 鹿児島.
151. カップヨーク型磁性アタッチメントの吸引力, 材料特性の検討
鈴木弘也, 山田宏秀, 奥野 攻, 木内陽介, 第4回日本磁気歯科学会, 1994
年12月, 東京.

152. 磁性アタッチメント材ならびにインプラント材の MRI に及ぼす影響
飯室フロレンティーナ隆子, 浜中人士, 奥野 攻, 西村 博, 第 4 回日本
磁気菌科学会, 1994年12月, 東京.
153. SUS430系磁性ステンレス鋼の耐食性とそれを用いた磁性アタッチメントの
吸引力について
高田雄京, 奥野 攻, 第 4 回日本磁気菌科学会, 1994年12月, 東京.
154. 磁性ステンレス鋼と貴金属合金の接合利用における腐食挙動
高田雄京, 菊地聖史, 奥野 攻, 第 4 回日本磁気菌科学会, 1994年12月,
東京.
155. チタン鑄造体の定荷重曲げ疲労特性について
飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第 8 回歯科チタン研究会, 1995年 1 月12日,
東京.
156. マウスガードの化学講座と動的粘弾性
片倉直至, 奥野 攻, 細谷 誠, 第25回日本歯科理工学会, 1995年 4 月15日,
坂戸.
157. 歯科用合金の組み合わせによる腐食機構 (第3報) 一卑金属合金のガルバニ
腐食—
田中謙一, 手島貞一, 高田雄京, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 第25回日
本歯科理工学会, 1995年 4 月16日, 坂戸.
158. フェライト系ステンレス鋼と歯科用貴金属合金の接合における溶出イオン量
と腐食電流の関係
高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 田中謙一, 第25回日本歯科理工学会, 1995
年 4 月16日, 坂戸.
159. 高純度フェライト系ステンレス鋼を用いた歯科用磁石
高田雄京, 奥野 攻, 第10回日本歯科産業学会, 1995年 7 月30日, 神奈川.
160. Dental magnetic attachment using high magnetic saturation flux density stainless
steel
H.Harada, H.Suzuki, T.Sugihara, O.Okuno and Y.Takada, 1995 Fall Annual Meeting
of the Japan Institute of Metals, September, 1995, Hawaii.
161. 付加型シリコーンゴム印象材の流動性
泉田明男, 細谷 誠, 笠原 紳, 木村幸平, 片倉直至, 奥野 攻, 第26回日
本歯科理工学会, 1995年 9 月29日, 仙台.

162. 高カラット金-チタン系合金の歯科応用の検討
高橋俊幸, 鹿沼晶夫, 菊地聖史, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 第26回日本歯科理工学会, 1995年9月29日, 仙台.
163. 白金鉄磁石のクラウン・ブリッジへの応用に関する基礎的研究 (第1報)
菅野太郎, 木村幸平, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 中山孝文, 第26回日本歯科理工学会, 1995年9月29日, 仙台.
164. コンピュータによる陶材築盛の自動化
菊地聖史, 奥野 攻, 第26回日本歯科理工学会, 1995年9月30日, 仙台.
165. チタンおよびチタン合金と歯科用金合金との融着による接合について
飯島一法, 高田雄京, 片倉直至, 奥野 攻, 第26回日本歯科理工学会, 1995年9月29日, 仙台.
166. 耐火模型法によるセラミッククラウンの適合精度について—第2報—
毛取達郎, 山崎尚哉, 今野龍彦, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 稲垣亮一, 第92回日本補綴歯科学会, 1995年10月27日, 岡山.
167. 超塑性チタン合金への金ろう付けについて—パラジウム箔の拡散接合による表面改質—
片桐紀行, 三浦正敬, 弓田千春, 高田啓子, 高橋昭恵, 飯島一法, 奥野 攻, 第14回東北大学歯学会, 1995年12月1日, 仙台.
168. 各種ステンレス鋼の金属清掃剤に対する腐食挙動
高田雄京, 菊地聖史, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 第5回日本磁気歯科学会, 1995年12月9日, 徳島.
169. カップヨーク形磁性アタッチメントの, 各部の磁性と吸引力との関係
鈴木弘也, 梶原 徹, 奥野 攻, 木内陽介, 第5回日本磁気歯科学会, 1995年12月9日, 徳島.
170. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金のクラウン・ブリッジへの応用
菅野太郎, 依田正信, 木村幸平, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 中山孝史, 第5回日本磁気歯科学会, 1995年12月9日, 徳島.
171. Corrosion Resistance of Magnetic Stainless Steel for Attachment
O.Okuno, Y.Takada, Y.Kinouchi, H.Mizutani, M.AI and H.Yamada, J Dent Res 74 (IADR Abstracts) P:559, June, 1995, Singapore.

172. 貴金属系合金との接合挙動について
飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第9回歯科チタン研究会, 1996年2月3日, 東京.
173. コンピュータによる陶材築盛の自動化(第2報) —メタルフレームへの築盛—
菊地聖史, 奥野 攻, 第27回日本歯科理工学会, 1996年4月20日, 横須賀.
174. 高カラット金-チタン系合金の歯科応用の検討(第2報) —機械的性質について—
高橋俊幸, 鹿沼晶夫, 菊地聖史, 高田雄京, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 第27回日本歯科理工学会, 1996年4月20日, 横須賀.
175. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金の可撤式クラウン・ブリッジへの応用
菅野太郎, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 中山孝文, 第95回日本補綴歯科学会, 1996年5月31日, 広島.
176. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金の可撤式クラウン・ブリッジへの応用第二報
菅野太郎, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 中山孝文, 日本補綴歯科学会東北北海道支部会, 1996年9月7日, 仙台.
177. 歯科鑄造した Fe-Pt 系磁石の磁気特性
中山孝文, 渡辺雅人, 本間基文, 菅野太郎, 木村幸平, 奥野 攻, 第20回日本応用磁気学会, 1996年9月20日, 千葉.
178. 高カラット金-チタン系合金の歯科応用の検討(第3報) —化学的性質, 物理学的性質について—
高橋俊幸, 鹿沼晶夫, 菊地聖史, 高田雄京, 飯島一法, 片倉直至, 奥野 攻, 第28回日本歯科理工学会, 1996年9月22日, 豊中.
179. 白金鉄磁石のクラウン・ブリッジへの応用に関する基礎的研究(第二報)
菅野太郎, 木村幸平, 飯島一法, 奥野 攻, 中山孝文, 第28回日本歯科理工学会, 1996年9月22日, 豊中.
180. 粘膜調整材の動的粘弾性
片倉直至, 奥野 攻, 細谷 誠, 木村幸平, 第28回日本歯科理工学会1996年9月23日, 豊中.
181. 単純な構造のカップヨーク形磁性アタッチメントとその解析
鈴木弘也, 田中清巳, 奥野 攻, 木内陽介, 第6回日本磁気歯科学会, 1996年11月17日, 仙台.

182. 歯科鑄造法によって作製した Fe-Pt-Co-Nb 系合金の磁気特性
中山孝文, 本間基文, 木村幸平, 菅野太郎, 奥野 攻, 第 6 回日本磁気歯科学会, 1996年11月17日, 仙台.
183. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金のクラウンブリッジへの応用 第 2 報 白金鉄磁石へのニオブおよびシリコンの添加効果
菅野太郎, 木村幸平, 飯島一法, 奥野 攻, 中山孝文, 本間基文, 第 6 回日本磁気歯科学会, 1996年11月17日, 仙台.
184. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金のクラウンブリッジへの応用 第 3 報 着磁方法と吸引力
菅野太郎, 木村幸平, 片倉直至, 奥野 攻, 中山孝文, 本間基文, 第 6 回日本磁気歯科学会, 1996年11月17日, 仙台.
185. 歯科鑄造用チタン合金を目的とした Ti-Ag, Ti-Cr, Ti-Pd 合金の機械的性質と腐食挙動
高田雄京, 奥野 攻, 中瀧 裕, 岡部 徹, 第10回歯科チタン研究会, 1997年 1 月10日, 東京.
186. Evaluation of Binary Metastable β Titanium Alloys for Dental Applications
Y.Takada, O.Okuno, H.Nakajima, T.Okabe, IADR, March 23, 1997, Orlando.
187. チタンと貴金属合金との接合挙動におよぼす金, 銀, 銅の影響
飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第29回日本歯科理工学会, 1997年 4 月 6 日, 東京.
188. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金の可撤式クラウン・ブリッジへの応用 第 3 報
菅野太郎, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 中山孝文, 第97回日本補綴歯科学会, 1997年 5 月30日, 長崎.
189. 陶材の自動築盛システムの開発
菊地聖史, 奥野 攻, 日本歯科産業学会, 1997年 7 月27日, 東京.
190. チタン合金鑄造体の表面反応層に及ぼす添加元素の影響
高田雄京, 飯島一法, 中瀧 裕, 岡部 徹, 奥野 攻, 第30回日本歯科理工学会, 1997年 9 月20日, 福岡.
191. 義歯床用レジンの動的粘弾性
片倉直至, 飯島一法, 佐々木英夫, 奥野 攻, 第30回日本歯科理工学会, 1997年 9 月20日, 福岡.

192. コンピュータによる陶材築盛の自動化（第3報）—陶材の湿潤状態の評価と制御—
菊地聖史, 奥野 攻, 第30回日本歯科理工学会, 1997年9月21日, 福岡.
193. チタンおよびチタン合金の生体擬似環境における再不動態化
塙 隆夫, 渡会幹子, 浅見勝彦, 奥野 攻, 浅岡憲三, 第121回日本金属学会, 1997年9月26日, 仙台.
194. Application on Dental Casting Fe-Pt Magnet to Crowns and Bridges
T.Kanno, K.Kimura, O.Okuno, Third International Congress on Dental Materials, November 8, 1997, Hawaii.
195. 白金鉄磁石のメビウス症候群による口唇閉鎖不全への応用の試み—磁性インプラントの吸引力について—
羽岡克規, 菅野太郎, 木村幸平, 菊地聖史, 高田雄京, 奥野 攻, 中山孝文, 山田 勲, 三次正春, 第7回日本磁気歯科学会, 1997年11月29日, 横浜.
196. チタンへの貴金属合金融接に及ぼす合金元素の影響
飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第32回東北大学歯学会, 1997年12月5日, 仙台.
197. 鑄造チタン合金の α ケースに及ぼす添加元素の効果
高田雄京, 飯島一法, 中寫 裕, 岡部 徹, 奥野 攻, 第11回チタン研究会, 1998年2月1日, 大阪.
198. 歯科用アマルガムとチタンの接触腐食について(第1報)—電気化学的挙動—
高田雄京, 林 時徳, 飯島一法, 金 教漢, 奥野 攻, 第31回日本歯科理工学会, 1998年4月18日, 横浜.
199. コンピュータによる陶材築盛の自動化（第4報）—築盛体の形状測定—
菊地聖史, 奥野 攻, 第31回日本歯科理工学会, 1998年4月19日, 横浜.
200. チタンと金合金融接による接合体の耐食性
飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第31回日本歯科理工学会, 1998年4月19日, 横浜.
201. ポーセレンジャケットクラウン機能時の応力解析三次元有限要素を用いた変形体の接触による解析
石橋 実, 笠原 紳, 本永三千雄, 木村幸平, 奥野 攻, 第99回日本補綴歯科学会, 1998年5月29日, 仙台.

202. 自動築盛による新しい歯科用 CAM の開発—一次世代歯科用 CAD/CAM システムに向けて—
菊地聖史, 奥野 攻, 産業歯科学会, 1998年9月5日, 仙台.
203. 歯科鑄造用 Au-1.6wt%Ti 合金の諸特性 (第1報) —耐食性—
伊藤雅之, 高田雄京, 飯島一法, 笠原 紳, 木村幸平, 奥野 攻, 第32回日本歯科理工学会, 1998年10月18日, 新潟.
204. 白金鉄磁石のクラウン・ブリッジへの応用に関する基礎的検討 (第三報) —機械的性質および耐食性について—
羽岡克規, 菅野太郎, 笠原 紳, 木村幸平, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 中山孝文, 第32回日本歯科理工学会, 1998年10月18日, 新潟.
205. 磁性ステンレス鋼の熱履歴と腐食挙動
高田雄京, 飯島一法, 羽岡克規, 相田光治郎, 伊藤雅之, 木村幸平, 奥野 攻, 第32回日本歯科理工学会, 1998年10月18日, 新潟.
206. 光学的三角測量法による形状測定の精度判定について
菊地聖史, 奥野 攻, 第32回日本歯科理工学会, 1998年10月18日, 新潟.
207. 歯科鑄造による白金鉄磁石合金の可撤式クラウン・ブリッジへの応用
羽岡克規, 相田光次郎, 菅野太郎, 笠原 紳, 木村幸平, 高田雄京, 奥野 攻, 中山孝文, 第99回日本補綴歯科学会, 1998年5月30日, 仙台.
208. 磁性ステンレス鋼の歯科鑄造に関する基礎的検討 第一報 埋没材について
相田光治郎, 羽岡克規, 菅野太郎, 木村幸平, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 中山孝文, 第8回日本磁気歯科学会, 1998年12月6日, 岐阜.
209. 磁性ステンレス鋼の加熱と耐食性について
高田雄京, 飯島一法, 羽岡克規, 相田光次郎, 菅野太郎, 中山孝文, 木村幸平, 奥野 攻, 第8回日本磁気歯科学会, 1998年12月6日, 岐阜.
210. 生体用 Ti-15Mo-2.8Nb-0.2Si 合金の歯科鑄造
奥野 攻, 高田雄京, 飯島一法, 岡部 徹, 渡辺郁哉, 第12回歯科チタン研究会, シンポジウム講演, 1999年2月20日, 千葉.
211. Bond Strength of Binary Titanium Alloys to Porcelain
M.Yoda, T.Konno, Y.Takada, K.Iijima, J.Griggs, O.Okuno, K.Kimura and T.Okabe, IADR, March 10-13, 1999, Vancouver.

212. Machinability of experimental Ti-Cu alloys
T.Okabe, S.Kiyosue, M.Woldu, Z.Cai, M.Yoda, J.Griggs, O.Okuno, and Y.Takada,
IADR, Vancouver, March 10-13, 1999, Vancouver.
213. 歯科用アマルガムとチタンの接触腐食について(第2報)―イオン溶出挙動―
林 時徳, 高田雄京, 飯島一法, 金 教漢, 奥野 攻, 第33回日本歯科理工
学会, 1999年4月3日, 川崎.
214. 各種ポーセレンクラウンの破壊荷重・接触条件を考慮したポーセレンジャ
ケットクラウンの応力解析
本永三千雄, 笠原 紳, 木村幸平, 石橋 実, 渡邊一成, 依田正信, 稲垣亮一,
菊地聖史, 奥野 攻, 第101回日本補綴歯科学会, 1999年5月21日, 福岡.
215. 陶材築盛の自動化による歯科用 CAD/CAM システムの開発
菊地聖史, 奥野 攻, 第16回ラピッド・プロトタイピングシンポジウム,
1999年5月27日, 広島.
216. 高弾性重付加型シリコーンゴム印象材の理工学的性質
泉田明男, 細谷 誠, 笠原 紳, 依田正信, 木村幸平, 片倉直至, 奥野 攻,
第14回日本歯科産業学会, 1999年8月28日, 大阪.
217. 有機複合フィラーを含有するコンポジットレジン of 破壊と摩耗挙動
金 教漢, 金 永彬, 任 靖日, 金 石三, 奥野 攻, 第34回日本歯科理工
学会, 1999年10月9日, 札幌.
218. Ti-Cu 合金の金属組織と化学的性質
高田雄京, 菊地聖史, 飯島一法, 依田正信, 岡部 徹, 奥野 攻, 第34回日
本歯科理工学会, 1999年10月9日, 札幌.
219. Ti-Cu 合金の機械的性質と機械加工性
菊地聖史, 高田雄京, 依田正信, 清末晴悟, 岡部 徹, 奥野 攻, 第34回日
本歯科理工学会, 1999年10月9日, 札幌.
220. 生体用 Fe-Pt 系永久磁石合金と磁性ステンレス鋼の耐食性
奥野 攻, 中山孝文, 高田雄京, 羽岡克規, 木村幸平, 本間基文, 第125回
日本金属学会, 1999年11月22日, 金沢.
221. CAD/CAM を目指した歯科用 Ti-Cu 合金の耐食性
高田雄京, 菊地聖史, 廣本祥子, 不破章雄, 岡部 徹, 奥野 攻, 第125回
日本金属学会, 1999年11月22日, 金沢.

222. Bonding Strength of Titanium Alloys to Porcelain
T.Konno, M.Yoda, Y.Takada, J.A.Griggs, O.Okuno, K.Kimura and T.Okabe, IADR, April 6, 2000, Washington D.C.
223. Castability of Titanium Alloys
K.Watanabe, O.Miyakawa, Y.Takada, O.Okuno and T.Okabe, IADR, April 7, 2000, Washington D.C.
224. Properties Characterization of Ti-Mn Alloys
Y.Takada, M.Kikuchi, T.Okabe and O.Okuno, IADR, April 7, 2000, Washington D.C.
225. 白金鉄磁石のクラウン・ブリッジへの応用に関する基礎的検討（第四報）
—白金鉄系磁石合金と磁性ステンレス鋼の接触腐食—
羽岡克規, 菅野太郎, 木村幸平, 高田雄京, 奥野 攻, 第35回日本歯科理工学会, 2000年4月28日, 東京.
226. ポリメタクリル酸ブチル系粘膜調整材の試作
片倉直至, 奥野 攻, 平成12年度日本歯科理工学会北海道・東北支部夏期セミナー, 2000年8月26日, 盛岡.
227. 試作 Ti-Cu 合金の機械加工性について
菊地聖史, 高橋正敏, 高田雄京, 奥野 攻, 平成12年度日本歯科理工学会北海道・東北支部夏期セミナー, 2000年8月26日, 盛岡.
228. チタン合金の機械加工性におよぼす β 拡大型添加元素の効果
菊地聖史, 高橋正敏, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 第36回日本歯科理工学会, 2000年10月14日, 岡山.
229. 歯科鑄造用合金を目的とした 2 元系 Ti-Mn 合金の化学的性質
高田雄京, 菊地聖史, 岡部 徹, 奥野 攻, 第36回日本歯科理工学会, 2000年10月14日, 岡山.
230. 歯科用合金から溶出する金属イオンのチタンへの選択的吸着現象
高田雄京, 浅見勝彦, 川嶋朝日, 塙 隆夫, 奥野 攻, 日本金属学会, 2001年3月29日, 千葉.
231. チタン合金の機械加工性におよぼす β 拡大型添加元素の効果（第2報）
—Au と Nb の添加元素—
高橋正敏, 菊地聖史, 高田雄京, 飯島一法, 奥野 攻, 第37回日本歯科理工学会, 2001年4月1日, 東京.

232. 口腔内擬似環境におけるチタンの重金属イオン吸着現象
高田雄京, 浅見勝彦, 川嶋朝日, 埴 隆夫, 奥野 攻, 第37回日本歯科理工学会, 2001年4月1日, 東京.
233. Electrochemical characterization of experimental binary titanium alloys
Z Cai, L Carrasco, Y Takada, O Okuno, T Okabe, IADR, 2001. June 27-30, 2001, Chiba.
234. Mold filing titanium using a high mold temperature
H.Shimizu, M.Kikuchi, O.Okuno, and T.Okabe, IADR, 2001. June 27-30, 2001, Chiba.
235. Ions released from dental amalgams contacted with titanium in galvanic corrosion
Y.Takada, S-D.Lim, K.Asami, A.Kawashima, T.Hanawa, K-H.Kim, O.Okuno, IADR, June 27-30, 2001, Chiba.
236. Galvanic Corrosion Behavior of Orthodontic Wires Jointed with Silver Solder
J.WJahng, Y.Takada, O.Okuno, H.Mitani, IADR, June 27-30, 2001, Chiba.
237. Development of the Removable Prosthetic Appliance Using Pt-Fe Magnetic alloys
T.Kanno, K.Haoka, O.Okuno, K.Kimura, IADR, June 27-30, 2001, Chiba.
238. 歯科用金属の組み合わせによる溶出イオンの増加
高田雄京, 奥野 攻, 日本歯科理工学会北海道・東北支部夏期セミナー, 2001年9月1日, 仙台.
239. 歯科用磁性合金の研削性
林 栄成, 菊地聖史, 菅野太郎, 笠原 紳, 木村幸平, 奥野 攻, 第38回日本歯科理工学会, 2001年10月19日, 福岡.
240. チタン合金の切削性の評価
菊地聖史, 奥野 攻, 第38回日本歯科理工学会, 2001年10月19日, 福岡.
241. 金, 銀, 銅を添加したチタン合金の電気化学的腐食挙動
高田雄京, 高橋正敏, 菊地聖史, 飯島一法, 奥野 攻, 第38回日本歯科理工学会, 2001年10月19日, 福岡.
242. チタン合金の機械加工性におよぼす β 拡大型添加元素の効果 (第3報) —機械的性質と組織—
高橋正敏, 菊地聖史, 飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第38回日本歯科理工学会, 2001年10月20日, 福岡.

243. 白金鉄系磁石合金および磁性ステンレス鋼の研削性
林 栄成, 菅野太郎, 笠原 紳, 木村幸平, 菊地聖史, 奥野 攻, 第11回日本磁気歯科学会, 2001年12月1日, 札幌.
244. チタン合金の機械加工性におよぼす β 拡大型天下元素の効果 (第4報)
— Ti-Nb-Cu 合金の機械的性質 —
高橋正敏, 菊地聖史, 飯島一法, 高田雄京, 奥野 攻, 第39回日本歯科理工学会, 2002年4月13日, 東京.
245. チタン合金の切削性の評価 (第2報) 試作 Ti-Nb 合金と市販チタン合金の比較
菊地聖史, 奥野 攻, 第39回日本歯科理工学会, 2002年4月13日, 東京.
246. チタン合金の機械加工性におよぼす β 拡大型添加元素の効果 (第5報)
— Ti-Nb 合金の機械的性質と組織 —
菊地聖史, 高橋正敏, 奥野 攻, 第40回日本歯科理工学会, 2002年8月31日, 塩尻.
247. アマルガムとチタンの接触腐蝕における溶出イオンの増域
高田雄京, 林 時徳, 浅見勝彦, 金 教漢, 奥野 攻, 第40回日本歯科理工学会, 2002年8月31日, 塩尻.
248. 高弾性重付加型シリコンゴム印象材の動的粘弾性
泉田明男, 細谷 誠, 片倉直至, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 第40回日本歯科理工学会, 2002年8月31日, 塩尻.
249. チタン鑄造体反応層に関する研究—楔状パターンについて—
菊地久二, 小野内 真, 黒谷知子, 金田光正, 奥野 攻, 西山 實, 第40回日本歯科理工学会, 2002年9月1日, 塩尻.
250. 積分要素法を用いた白金鉄系磁石合金クラウン・ブリッジの最適設計に関する基礎研究 (第二報)
莊司伸樹, 中村圭祐, 菅野太郎, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 高橋正史, 草柳幸治, 第12回日本磁気歯科学会, 2002年11月16日, 長野.
251. Corrosion Behavior of Experimental Cast Ti-Au Alloys
M.Takahashi, M.Koiike, Z.Cai, M.Kikuchi, Y.Takada, O.Okuno and T.Okabe, 32nd AADR, March 15, 2003, San Antonio.
252. 白金鉄磁石合金鑄造体表面における骨の成長
高田雄京, 向山泰泉, 越後成志, 奥野 攻, 第42回日本歯科理工学会, 2003年9月19日, 盛岡.

253. チタン合金の金属組織とアノード分極挙動
高橋正敏, 高田雄京, 菊地聖史, 木村幸平, 小池麻里, 岡部 徹, 奥野 攻,
第42回日本歯科理工学会, 2003年9月20日, 盛岡.
254. チタン合金の弾性率によぼす β 相大型添加元素の効果
高橋正敏, 林 栄成, 奥野 攻, 42回日本歯科理工学会, 2003年9月20日,
盛岡.
255. 生体用白金鉄磁石合金の骨親和性
高田雄京, 向山泰泉, 越後成志, 奥野 攻, 日本金属学会, 2003年10月12日,
札幌.
256. 積分要素法を用いた白金鉄系磁石合金クラウン・ブリッジの最適設計に関する基礎的研究(第三報)
莊司伸樹, 草柳幸治, 奥野 攻, 木村幸平, 13回日本磁気歯科学会, 2003年
11月23日, 神奈川.
257. 金-1.6wt%チタン合金による陶材焼付鑄造冠の適合精度
陶 建祥, 伊藤雅之, 依田正信, 木村幸平, 奥野 攻, 第17回歯科チタン学
会, 2004年2月14日, 仙台.
258. Ti-Au, Ti-Ag, Ti-Cu 合金の弾性率と金属組織
高橋正敏, 菊地聖史, 奥野 攻, 第17回歯科チタン学会, 2004年2月14日,
仙台.
259. 銅を含むチタン合金の腐食挙動
小池麻里, 藤井弘之, 服部雅之, 伊藤雅之, 木村幸平, 小田 豊, 奥野 攻,
岡部 徹, 第17回歯科チタン学会, 2004年2月15日, 仙台.
260. 2元系チタン合金の耐食性に関する熱力学的検討
高田雄京, 金 教漢, 金 炯一, 奥野 攻, 第17回歯科チタン学会, 2004年
2月15日, 仙台.
261. Corrosion Behavior of Cast Ti-Cr and Ti-Cr-Cu Alloys
M.Koike, Z.Cai, H.Fujii, Mito, O.Okuno and T.Okabe, IADR/AADR/CADR 82nd,
March 10, 2004, Hawaii.
262. Electrochemical characterization of cast Ti-Hf binary alloys
Z.Cai, M.Brezner, M.Koike, Q.Guo, H.Sato, M.Komatsu, O.Okuno, and T.Okabe,
IADR/AADR/CADR 82nd, March 10, 2004, Hawaii.

263. Mechanical properties of cast Ti-Hf alloys
H.Sato, M.Kikuchi, O.Okuno, M.Komatsu, and T.Okabe, IADR/AADR/CADR 82nd, March 10, 2004, Hawaii.
264. Grindability of Cast Ti-Hf Alloys
M.Kikuchi, M.Takahashi, H.Sato, O.Okuno, and T.Okabe, IADR/AADR/CADR 82nd, March 10, 2004, Hawaii.
265. Au-Ag-Pd-Cu 系合金の組成と溶出イオンに関する研究
三宅理史, 高田雄京, 木村幸平, 奥野 攻, 第43回日本歯科理工学会, 2004年4月10日, 千葉.
266. Cr 含有量の異なる磁性ステンレス鋼と白金鉄磁石合金の組み合わせ腐食
中村圭祐, 羽岡克規, 高田雄京, 木村幸平, 奥野 攻, 第43回日本歯科理工学会, 2004年4月11日, 千葉.
267. Ti-Nb-Cu 合金の切削加工性と機械的性質
高橋正敏, 菊地聖史, 高田雄京, 奥野 攻, 第44回日本歯科理工学会, 2004年9月24日, 京都.
268. 歯科鑄造した磁性ステンレス鋼の熱処理とアノード挙動
高田雄京, 中村圭祐, 木村幸平, 奥野 攻, 第44回日本歯科理工学会, 2004年9月24日, 京都.
269. インプラント用重付加型シリコーンゴム印象材の理工学的性質
泉田明男, 細谷 誠, 依田正信, 木村幸平, 片倉直至, 奥野 攻, 第44回日本歯科理工学会, 2004年9月24日, 京都.
270. Grindability and mechanical properties of experimental Ti-Au, Ti-Ag and Ti-Cu alloys
Takahashi M, Kikuchi M, Takada Y, Okuno O, International Symposium for Interface Oral Health Science, Feb. 2, 3, 2005, Sendai.
271. Ti-Nb-Cu 合金の機械的性質と研削性
高橋正敏, 菊地聖史, 高田雄京, 奥野 攻, 第18回歯科チタン学会, 2005年2月19日, 塩尻.
272. Thermal Analysis of Experimental Ag-Sn-Cu Amalgams Containing Pd
Kikuchi M, Koike M, Okuno O, Ferracane JL, Okabe T, The IADR/AADR/CADR 83rd General Session, Mar. 9-12 2005, Baltimore.

273. Mold filling of Ti-Hf alloys
Sato H, Kikuchi M, Komatsu M, Okuno O, Okabe T, The IADR/AADR/CADR 83rd General Session, Mar. 9-12 2005, Baltimore.
274. Electrochemical behavior of Ti-Ag alloys
Koike M, Cai Z, Kikuchi M, Takada Y, Okuno O, Okabe T, The IADR/AADR/CADR 83rd General Session, Mar. 9-12 2005, Baltimore.
275. チタン銀合金における Ti_2Ag の析出とアノード分極挙動
高橋正敏, 高田雄京, 菊地聖史, 岡部 徹, 奥野 攻, 第45回日本歯科理工学会学術講演会, 2005年3月9-12日, 東京.
276. 歯科用磁性アタッチメント磁石構造体の耐食性
高田雄京, 奥野 攻, 第46回日本歯科理工学会, 2005年9月15日, 長崎.
277. Ti-Ag 合金の組成と溶出イオン
高橋正敏, 高田雄京, 菊地聖史, 奥野 攻, 第46回日本歯科理工学会, 2005年9月15日, 長崎.
278. Ti-Cu 合金組織を構成する Ti_2Cu から溶出する Cu イオン量
高田雄京, 奥野 攻, 第46回日本歯科理工学会, 2005年9月15日, 長崎.
279. レーザーのレジンへの応用
丹野雅仁, 友田浩三, 小松正志, 奥野 攻, 日本歯科技工学会第27回学術大会, 2005年9月18日, 東京.
280. CAD/CAM 修復物におけるスぺーサーの考察
加藤裕光, 友田浩三, 丹野雅仁, 木村幸平, 笠原 紳, 奥野 攻, 日本歯科技工学会第27回学術大会, 2005年9月18日, 東京.
281. 歯冠用レジンペーストの流動性
友田浩三, 泉田明男, 木村幸平, 小松正志, 奥野 攻, 日本歯科技工学会第27回学術大会, 2005年9月18日, 東京.
282. Ti-Zr 合金の研削性
高橋正敏, 菊地聖史, 奥野 攻, 第19回歯科チタン学会, 2006年2月18日, 郡山.
283. 試作 Ti-Hf 合金鑄造体の機械的性質
佐藤秀樹, 菊地聖史, 小松正志, 奥野 攻, 岡部 徹, 第19回歯科チタン学会, 2006年2月18日, 郡山.

284. 試作 Ti-Hf 合金の研削性
菊地聖史, 高橋正敏, 佐藤秀樹, 小松正志, 岡部 徹, 奥野 攻, 第19回歯科チタン学会, 2006年2月18日, 郡山.
285. Development of new dental titanium alloys for CAD/CAM application
Masafumi Kikuchi, Osamu Okuno, アジア教育拠点事業九州セミナー, 2006年3月6-7日, 福岡.
286. 試作 Ti-Ag 合金の切削性
菊地聖史, 高橋正敏, 奥野 攻, 第47回日本歯科理工学会学術講演会, 2006年4月22-23日, 東京.
287. Ti-Ag 合金の乳酸水溶液中におけるイオン溶出
高橋正敏, 高田雄京, 菊地聖史, 奥野 攻, 第47回日本歯科理工学会, 2006年4月22-23日, 東京.
288. 歯科用磁性アタッチメントの孔食性評価
高田雄京, 奥野 攻, 第47回日本歯科理工学会, 2006年4月22日, 東京.
289. Ti-Ag 合金の乳酸水溶液におけるイオン溶出
高橋正敏, 高田雄京, 菊地聖史, 奥野 攻, 第47回日本歯科理工学会, 2006年4月22日, 東京.
290. 試作 Ti-Ag 合金の切削性
菊地聖史, 高橋正敏, 奥野 攻, 第47回日本歯科理工学会, 2006年4月23日, 東京.
291. 歯科用磁性アタッチメントの骨形成への影響
門間悠介, 高田雄京, 越後成志, 奥野 攻, 第47回日本歯科理工学会, 2006年4月23日, 東京.
292. フェライト系ステンレス鋼の溶出イオンと骨親和性
高田雄京, 門間悠介, 越後成志, 奥野 攻, 第47回日本歯科理工学会, 2006年4月23日, 東京.
293. Electrochemical Evaluation of Corrosion for Dental Magnetic Attachments
Y. Takada, M. Kikuchi, O. Okuno, 84th General Session & Exhibition of the IADR, June 28-July 1, 2006, Brisbane.
294. Machinability of Experimental Ti-Ag and Ti-Cu Alloys
M. Kikuchi, M. Takahashi, O. Okuno, 84th General Session & Exhibition of the IADR, June 28-July 1, 2006, Brisbane.

295. Released Ions and Microstructures of Experimental Ti-Ag Alloys
M. Takahashi, Y. Takada, M. Kikuchi, O. Okuno, 84th General Session & Exhibition of the IADR, June 28-July 1, 2006, Brisbane.
296. Strength of Porcelain Fused to Titanium Crown Made by CAD/CAM
R. Inagaki, M. Yoda, M. Kikuchi, K. Kimura, O. Okuno, 84th General Session & Exhibition of the IADR, June 28-July 1, 2006, Brisbane.
297. 急速加熱型石膏系埋没材の鋳型内温度分布
新居麻樹, 友田浩三, 菊地聖史, 佐々木啓一, 奥野 攻, 日本歯科技工学会第28回学術大会, 2006年9月17-18日, 広島.
298. 歯冠用レジンの接着修理に効果的な表面処理法
友田浩三, 小松正志, 木村真也, 菊地聖史, 奥野 攻, 日本歯科技工学会第28回学術大会, 2006年9月17-18日, 広島.
299. 歯科用磁性アタッチメントを構成する貴金属合金の耐食性と接触腐食
田中宗子, 高田雄京, 奥野 攻, 日本磁気歯科学会第16回学術大会, 2006年10月28日, 高松.
300. Mold filling of wedge-shaped Ti-Hf alloy castings
H. Sato, M. Kikuchi, M. Komatsu, O. Okuno, T. Okabe, The 2nd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai, Feb.18, 19, 2007, Sendai.
301. Elastic properties of experimental titanium alloys
M. Kikuchi, M. Takahashi, O. Okuno, The 2nd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai, Feb.18, 19, 2007, Sendai.
302. Released ions and microstructures of dental cast experimental Ti-Ag alloys
M. Takahashi, Y. Takada, M. Kikuchi, O. Okuno, The 2nd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai, Feb.18, 19, 2007, Sendai.
303. Strength of porcelain fused to pure titanium made by CAD/CAM
R. Inagaki, M. Yoda, M. Kikuchi, K. Kimura, O. Okuno, The 2nd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai, Feb.18, 19, 2007, Sendai.
304. Corrosion Characteristics of Magnetic Assemblies Composing Dental Magnetic Attachments
Yukyo Takada, Noriko Takahashi and Osamu Okuno, 2nd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai, Feb. 18, 19, 2007, Sendai.

305. Bone compatibility of dental magnetic attachments with static field
Yukyo Takada and Osamu Okuno, IADR, Mar. 20-24, 2007, New Orleans.
306. Ti-Ag 合金の自然電極電位
高橋正敏, 高田雄京, 菊地聖史, 奥野 攻, 第49回日本歯科理工学会学術講演会, 2007年5月12, 13日, 札幌.
307. CAD/CAM 用 Ti-Ag 合金の開発
奥野 攻, 菊地聖史, 高橋正敏, 高田雄京, 稲垣亮一, 第22回日本歯科産業学会・学術講演会, 2007年7月21, 22日, 徳島.
308. CAD/CAM システムより製作したクラウンのセメントスパーサーとセメント適合性に与える影響,
加藤, 笠原 紳, 木村幸平, 奥野 攻, 平成19年度日本補綴歯科学会北海道・東北支部学術大会, 2007年11月10日, 11日, 小樽
309. 歯科用磁性アタッチメントを用いた静磁場による骨誘導効果
高橋宗子, 高田雄京, 奥野 攻, 第17回日本磁気歯科学会学術大会, 2007年11月17, 18日, 東京
310. Safety of Dental Magnetic Attachments on the Basis of Bone Compatibility and Activities of Osteoblasts
Takada Y, Tairam, Takahashi, Okuno O, International Dental Materials Congress 2007, November 21,24, 2007, Bangkok
311. Ti-Ag 合金の自然電極電位とイオン溶出
高橋正敏, 高田雄京, 菊地聖史, 奥野 攻, 第21回歯科チタン学会, 2008年2月15日, 16日, 徳島
312. チタンと歯科用磁性アタッチメントを構成するステンレス鋼の異種金属接触腐食
高田雄京, 奥野 攻, 第21回歯科チタン学会, 2008年2月15日, 16日, 徳島
313. CAD/CAM による陶材焼付チタンクラウンの破折強さ
稲垣亮一, 依田正信, 菊地聖史, 木村幸平, 奥野 攻, 第21回歯科チタン学会, 2008年2月15日, 16日, 徳島

V. 解説・評論等（新聞・広報誌等での解説記事, 事典の執筆等）

1. 金属複合材料の新しい展望
三浦維四, 奥野 攻, 金属材料, 8 (7): 71-76, 1968.

2. 金属複合材料における諸問題
三浦維四, 奥野 攻, 材料 (日本材料学会誌), 18 (188): 357-368, 1969.
3. 複合材料のための微視力学
奥野 攻, 三浦維四, 金属, 41 (5): 33-37, 1971.
4. 繊維複合材料
三浦維四, 奥野 攻, セラミックス (窯業協会誌), 5 (7): 44-51, 1970.
5. 軽金属繊維強化材料に関する若干のコメント (I)
三浦維四, 浜中人士, 奥野 攻, 浅岡憲三, 軽金属 (日本軽金属協会誌), 25 (4): 147-158, 1975.
6. 軽金属繊維強化材料に関する若干のコメント (II)
三浦維四, 浜中人士, 奥野 攻, 浅岡憲三, 軽金属 (日本軽金属協会誌), 25 (5): 186-192, 1975.
7. コンピューターシミュレーションと金属材料研究
三浦維四, 奥野 攻, 浅岡憲三, 日本金属学会会報, 17 (10): 785-789, 1978.
8. セラミック繊維による金属強化
奥野 攻, 三浦維四, 繊維学会誌, 36 (3): 88-95, 1980.
9. 生体用金属材料の現状と開発
奥野 攻, 三浦維四, 人工臓器 (人工臓器学会誌), 9 (4): 728-736, 1980.
10. 骨と接合できない人工骨なんて… —生体になじむ多孔性金属材料の開発—
奥野 攻, 三浦維四, 金属, 51 (11): 8-14, 1981.
11. 医科用歯科用金属材料
奥野 攻, 三浦維四, VMC ジャーナル誌, 1 (2): 9-17, 1981.
12. 多孔性チタンの製法と用途
奥野 攻, 軽量化・小型化のための材料と加工 (日本機械学会), 73-87, 1983.
13. 口の中の磁石
奥野 攻, 金属, 53 (11): 13-16, 1983.

14. Properties and Interactions of Oral Structures and Restorative Materials
J.A.Tesk, J.Antonucci, G.Brauer, J.Mckinney, R.Penn, J.Stansbury, W.deRijk, S.Venz, O.Okuno, H.Iizuka, National Institute of Dental Research (U.S. Department of Commerce, National Bureau of Standards, Institute for Materials Science and Engineering), NBSIR 86-3320 1-63, 1986.
15. 最近の義歯材料について
奥野 攻, 素形材 (素形材センター誌), 26 (6): 16-22, 1987.
16. 合金化によるチタン応用のルーテイン化
奥野 攻, 中野 毅, 三浦維四, 歯科技工, 15 (8): 1015-1023, 1987.
17. チタン casting をリン酸塩系埋没材埋没材で行う
浜中人士, 川島 哲, 奥野 攻, 土居 寿, 歯科技工, 15 (8): 996-1006, 1987.
18. チタンの超塑性を利用する
奥野 攻, DE (歯科理工学会), No.85 '88 Spring : 28-31, 1988.
19. チタンの補綴的応用
奥野 攻, 歯科ジャーナル, 27 (5): 531-539, 1988.
20. 『超弾性』および『超塑性』とは
奥野 攻, QDT Quintessence of Dental Technology, Journal for Dental Technicians & Prosthodontics, 13 (11): 21-23, 1988.
21. Properties and Interactions of Oral Structures and Restorative Materials
J.A.Tesk, J.Antonucci, G.Brauer, J.Mckinney, J.Stansbury, S.Venz, S.Lee, W.deRijk, R.Penn, A.Sugawara, K.Asaoka, O.Okuno, National Institute of Dental Research (U.S. Department of Commerce, National Bureau of Standards, Institute for Materials Science and Engineering), NBSIR 88-3782, 1-94, 1988.
22. 生体材料としてのチタン
奥野 攻, BOUNDARY, 4 (9): 24-31, 1988.
23. チタンおよびチタン合金の現状
奥野 攻, 浜中人士, 歯科ジャーナル, 30 (3): 307-316, 1989.
24. チタンの合金化とチタン casting 機
奥野 攻, 歯科技工, 18 (8): 914-917, 1990.

25. 整形外科用および歯科用チタン
奥野 攻, 材料科学 (日本材料科学会誌), 27 (2): 89-96, 1990.
26. 歯科および医科領域に用いられるチタン合金
奥野 攻, 米山隆之, 浜中人士, 鉄と鋼 (日本鉄鋼協会誌), 76 (10): 1-9, 1990.
27. Titangustechnology Moglichkeiten. Probleme und Hoffnungen
R.Stoll, O.Okuno, M.Ai, V.Stachniss, ZWR (ドイツ歯科医師会誌), 100 : 38-42, 1991.
28. チタン鑄造における解決すべき諸問題
奥野 攻, 歯科技工, 10 (1): 79-85, 1991.
29. レビテーション溶解スピン鑄造機
奥野 攻, QDT, 16 (1): 5-10, 1991.
30. 材料学アトラス歯科用チタン
奥野 攻, QDT, 17 (1): 116-120, 1992.
31. 医科および歯科用金属材料の現状と加工技術
奥野 攻, 塑性と加工 (日本塑性加工学会誌), 33 (383) : 1335-1341, 1992.
32. チタン合金 —チタンの問題点と合金化—
奥野 攻, 浜中人士, DE100号記念別冊／ここまできた歯科器材, 56-57, 1992.
33. 磁性アタッチメンの理工学的特性
奥野 攻, 日本歯科評論, 604 : 72-82, 1993.
34. もう, ガタガタ言わせない!, 磁石で入れ歯を固定
奥野 攻, BOUNDARY, 9 (2): 22-26, 1993.
35. 歯科用磁性アタッチメント
奥野 攻, 日本金属学会会報, 32 (1): 11-13, 1993.
36. チタン合金
奥野 攻, QDT 別冊チタンの歯科技工 特別号 : 43-48, 1993.
37. 超塑性成形によるチタン合金床
奥野 攻, 歯科技工, 21 (8): 808-813, 1993.

38. 磁性アタッチメントの構造と機構について
奥野 攻, 東北大学歯学雑誌, 13 (1): 1-10, 1994.
39. 超硬質合金“デグノーム”の理工学的側面: - 1 -
安藤申直, 丹野雅仁, 稲垣亮一, 高田雄京, 奥野 攻, 歯科技工, 22 (10): 1085-1092, 1994.
40. チタン合金とは
奥野 攻, DE, No.111 Autumn: 33-36, 1994.
41. 超硬質合金“デグノーム”の理工学的側面 - 2 -
安藤申直, 丹野雅仁, 稲垣亮一, 高田雄京, 奥野 攻, 歯科技工, 22 (11): 1177-1188, 1994.
42. アマルガムの使用を支持する—歯科用アマルガム, アメリカの現状と世界の動向—
岡部 徹, 奥野 攻, BOUNDARY, 11 (4): 10-13, 1995.
43. チタン合金の歯科応用
奥野 攻, 生体材料, 14 (6): 267-273, 1996.
44. コンピュータによる陶材築盛の自動化—新しい歯科用 CAD/CAM システムの試み—
菊地聖史, 奥野 攻, QDT, 21 (9): 15-21, 1996.
45. 金-チタン合金
奥野 攻, 高橋俊幸, 高田雄京, 菊地聖史, 伊藤雅之, 稲垣亮一, 木村幸平, ザ・クインテッセンス, 16 (11): 209-212, 1997.
46. チタンの歯科応用とその問題点
奥野 攻, 四国歯学会雑誌, 9 (2): 135-138, 1997.
47. 鑄造チタン床および超塑性チタン床への金合金鑄造クラスプの接合法に関する理工学的考察,
奥野 攻, 飯島一法, 歯科技工, 15 (7): 826-830, 1997.
48. The Outlook for Alloys in Dentistry
O.Okuno, Transactions, November, 53-62, 1997.
49. 生体親和性材料の現在
奥野 攻, 木村幸平 (金-チタン合金と Esteticor Vision, Bior 17, QDT 別冊, 130-133, 1998.

50. The Present Status of Dental Titanium Casting
Toru Okabe, Chikahiro Ohkubo, Ikuya Watanabe, Osamu Okuno and Yukyo Takada, JOM, 50 (9): 24-29, 1998.
51. 歯科と磁性合金
奥野 攻, DE, No.127 10月 : 1-4, 1998.
52. 歯科臨床とアレルギー
中村正明, 藤井弘之, 中村誠司, 奥野 攻, 高田雄京, 杉山芳樹, 大島 浩,
日本歯科医学会誌, 18 (MARCH) : 64-74, 1999.
53. 融解
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科技工, 27 (7): 888, 1999.
54. 粘性 (Viscosity)
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科技工, 27 (8): 1007, 1999.
55. 表面張力 (Surface tension)
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科技工, 27 (9): 1172, 1999.
56. 凝固 (Solidification)
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科技工, 27 (10): 1304, 1999.
57. ガス吸収 (Occlusion of gas)
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科技工, 27 (11): 1446, 1999.
58. 鑄接 (Casting to embedded metals)
菊地聖史, 奥野 攻, 歯科技工, 27 (12): 1561, 1999.
59. 歯科鑄造による白金鉄系磁石合金と磁性ステンレス鋼の可撤式クラウン・ブリッジへの応用
菅野太郎, 羽岡克規, 相田光治郎, 木村幸平, 奥野 攻, 中山孝文, QDT,
25 (3): 19-26, 2000.
60. 機械加工性に優れた歯科用チタン合金の開発
菊地聖史, 奥野 攻, 東北大学歯学雑誌, 20 (1): 46, 2001.
61. 歯科鑄造用チタン合金
奥野 攻, DE, 142 : 5-8, 2002.
62. 歯科鑄造用チタン合金
奥野 攻, 日本バイオマテリアル学会, 20 (6): 387-393, 2002.

63. 歯科用金銀パラジウム合金に関する歯科理工学的研究実態と、それに代わりうる歯科材料の研究の現状について（報告書）（その１）歯科鑄造用金銀パラジウム合金に関する文献調査と代替材料の検討
奥野 攻, 他, 歯科材料・器械, 22 (6): 531-563, 2003.
64. 歯科用快削チタン合金の開発
菊地聖史, 奥野 攻, チタンと歯科臨床, 4 (1): 8-13, 2006.
65. 歯科用磁性アタッチメントの基礎
奥野 攻, DE, No.161 Spring: 3-6, 2007.
66. BTC (Bench to Clinic) 研究室から臨床へ チタンと CAD/CAM
菊地聖史, 奥野 攻, DE, No.160 Summer: 29-31, 2007.
67. 歯科用磁性アタッチメントの開発
奥野 攻, 歯科材料・器械, 26 (3): 291-300, 2007.
68. チタンおよびチタン合金
奥野 攻, 日本歯技, 464: 2008. 印刷中
69. 歯科用磁性アタッチメントの基礎と注意点
奥野 攻, 日本歯科医師会雑誌, 61(1): 2008. 印刷中

VI. その他（随想など）

1. チタンの歯は金歯に代われるか
奥野 攻, 金属, 52 (3): 6-7, 1982.
2. やっぱり金属
奥野 攻, 金属, 53 (1): 72, 1983.
3. 白い金属
奥野 攻, 金属, 55 (1): 27, 1985.
4. IMPACT !
奥野 攻, BOUNDARY, 1 (1): 48-49, 1985.
5. 透明金属あらわる？
奥野 攻, BOUNDARY, 2 (8): 20-21, 1986.

6. 金色ふしぎ ——特集にあたって——
奥野 攻, BOUNDARY, 2 (9): 2, 1986.
7. 黄金の歯“1分20秒の5”の記録 ウルトラアイ「目がくらむ“金”学」うら話
奥野 攻, BOUNDARY, 2 (9): 8-9, 1986.
8. 続“透明金属あらわる?”
奥野 攻, BOUNDARY, 3 (7): 75, 1987.
9. 毒入り金属
奥野 攻, BOUNDARY, 4 (4): 80, 1988.
10. 歯科医療材料の化学 化学展「2001年なぞとき体験の旅」
片倉直至, 泉田明男, 細谷 誠, 奥野 攻, 仙台市科学館, 2001年7月28日-8月12日, 2001, 仙台.
11. 研究室紹介 東北大学大学院歯科研究科口腔修復学講座歯科生体材料学分野
奥野 攻, 高田雄京, チタン, 53 (4), 2005.
12. 進化する金属系バイオマテリアル
奥野 攻, バイオマテリアル, 23 (2): 81-82, 2005.
13. チタン時代
奥野 攻, チタンと歯科臨床, 3 (1): 1-2, 2005.